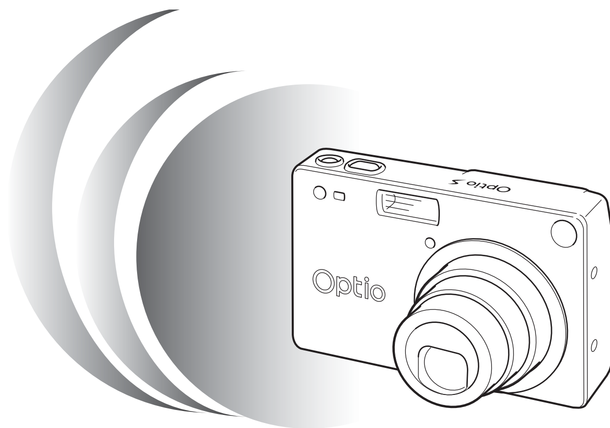
PENTAX™

デジタルカメラ

Optio S

使用説明書



カメラの正しい操作のため、ご使用前に
必ずこの使用説明書をご覧ください。

はじめに

このたびは、ペンタックス・デジタルカメラOptio Sをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品の機能を充分活用していただくために、ご使用になる前に本書をよくお読みください。また本書をお読みになった後は必ず保管してください。使用方法がわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

本機を使用するにあたって

・強い電波や磁気を発生する施設などの周囲では、カメラが誤動作を起こす場合があります。
・液晶モニタに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

商標について

SDロゴは商標です。
PENTAXはペンタックス株式会社の登録商標です。
オプティオおよびOptioはペンタックス株式会社の商標です。
その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。
USBドライバは米国インシリコン社のソフトウェアを使用しています。
本製品はPRINT Image Matching IIに対応しています。PRINT Image Matching II対応プリンタでの出力及び対応ソフトウエアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。PRINT Image Matching及びPRINT Image Matching IIに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書にしたがって、正しい取り扱いをしてください。

本文中のイラストおよび液晶モニタの表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。

ご注意ください

この製品の安全性については充分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。



このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。



このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性があることを示すマークです。



・カメラを分解・改造などをしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
・落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手をふれないでください。感電の危険があります。
・ＳＤメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。
・ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお子様がストラップを首に掛けないようにご注意ください。
・ACアダプタは、必ず専用品を指定の電源・電圧でご使用下さい。専用品以外のACアダプタをご使用になったり、専用のACアダプタを指定以外の電源・電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因になります。
・使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、電池またはACアダプタを取り外したうえ、サービス窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
・ACアダプタ使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグをはずし、使用を中止してください。機器の破損・火災・感電の原因となります。



・電池をショートさせたり、火の中に入れないでください。また、分解しないでください。破裂・発火のおそれがあります。
・充電式リチウムイオンバッテリーD-LI8以外は充電しないでください。破裂・発火のおそれがあります。
・ストロボの発光部に手を密着させたまま発光させないでください。やけどの恐れがあります。

・万一、カメラ内の電池が発熱・発煙を起こした時は、速やかに電池を取り出してください。その際は、やけどに充分ご注意ください。
・このカメラには、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間持ちつづけると、低温やけどを起こす恐れがありますのでご注意ください。

取り扱い上の注意

・長時間使用しなかったときや、大切な撮影（結婚式、旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用や逸失利益等）については、保証しかねます。
・このカメラはレンズ交換式ではありません。レンズの取り外しはできません。
・汚れ落としに、シンナーやアルコール・ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
・高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温になりますのでカメラを車内に放置しないでください。
・防腐剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また、高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しのよい場所に、カメラケースから出して保管してください。
・このカメラは防水カメラではありませんので、雨水などが直接かかる所では使用できません。
・強い振動・ショック・圧力などを加えないでください。オートバイ・車・船などの振動は、クッションなどを入れて保護してください。
・カメラの使用温度範囲は0℃～40℃です。
・高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
・低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
・高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。
・急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
・ゴミや泥・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。
・SDメモリーカード／マルチメディアカードの取り扱いについては、「SDメモリーカード／マルチメディアカード使用上の注意」（p.15）をご覧ください。
・破損や故障の原因になりますので、液晶モニタの表面を強く押さないでください。
・カメラを腰のポケットに入れた状態で椅子などに座ると、カメラが変形したり液晶モニタが破損する恐れがありますのでご注意ください。
・三脚を使用時は、ネジの締め過ぎに十分ご注意ください。

目次

本書の構成

本書は、次の章で構成されています。

●準備

お買い上げ後、写真を撮るまでの準備操作について説明しています。必ずお読みになり、撮影をはじめる前に、操作を行なってください。

●クイックスタート

一番簡単な撮影方法と再生方法を説明しています。すぐに撮影・再生をしたいときは、この操作方法をご利用ください。また、SDメモリーカードの活用方法についてご案内しています。

●機能共通操作

各ボタンの機能、メニューの設定方法など、各機能に共通する操作について説明しています。詳しい内容は、「撮影」「録音・再生」「再生・消去・画像編集」「設定」の各章をご覧ください。

●撮影

撮影モードを切り換えるバーチャルモードダイヤルの設定方法や撮影シーンにあわせて選択するピクチャーモード、さまざまな撮影の方法など、撮影に関する機能の設定方法について説明しています。

●録音・再生

音声だけの録音や画像に音声を追加する方法、再生のしかたを説明しています。

●再生・消去・画像編集

カメラ・テレビでの再生の方法や消去のしかた、画像サイズの変更やトリミングの方法、パソコンで画像を表示する方法などを説明しています。

●設定

カメラに関する機能の設定方法について説明します。

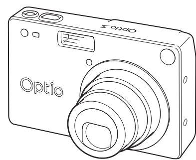
●付録

困ったときの対処のしかたや、別売品の案内をしています。

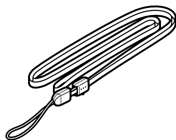
●操作説明中で使用されている表記の意味は次のようになっています。

（参照マーク）	関連する操作の説明が記述されているページを記載しています。
メモ	知っておくと便利な情報などを記載しています。
注意	操作上の注意事項などを記載しています。
P ピクチャーモード 3D USER	項目の最初に表示されたアイコンは、その機能が使える撮影モードです。

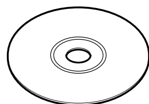
主な同梱品の確認



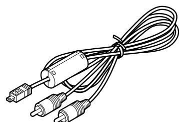
本体
Optio S



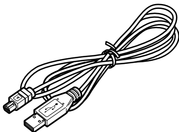
ストラップ
O-ST5（※）



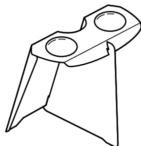
ソフトウェア（CD-ROM）
S-SW8



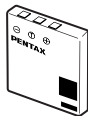
AVケーブル
I-AVC7（※）



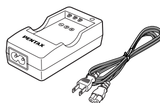
USBケーブル
I-USB7（※）



3Dイメージビュワー
O-3DV1



充電式リチウムイオンバッテリー
D-LI8（※）



バッテリー充電器キット
K-BC8J（※）



使用説明書
（本書）

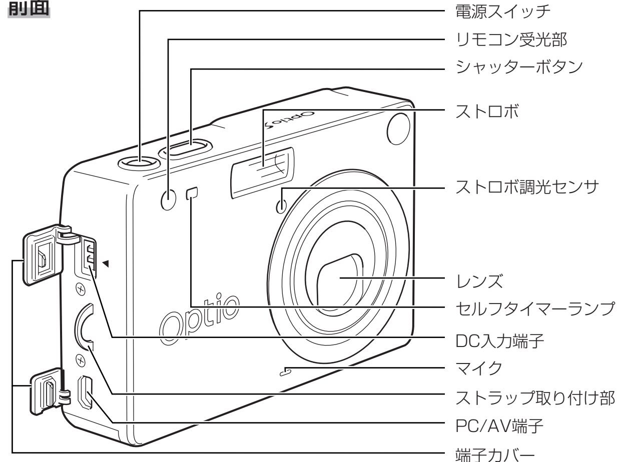


保証書

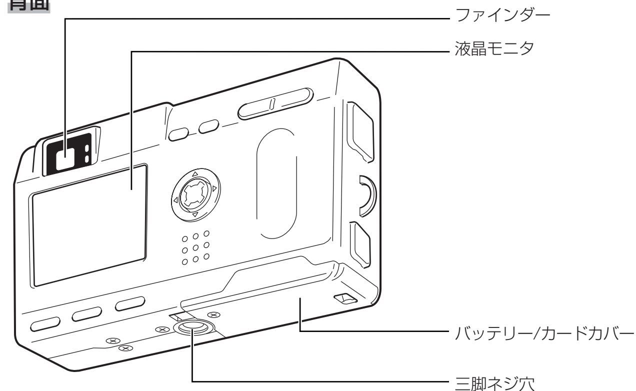
（※）の製品は、別売りアクセサリーとしてもご用意しております。
その他の別売りアクセサリーについては、「別売りアクセサリー一覧」（p.127）をご覧ください。

各部の名称

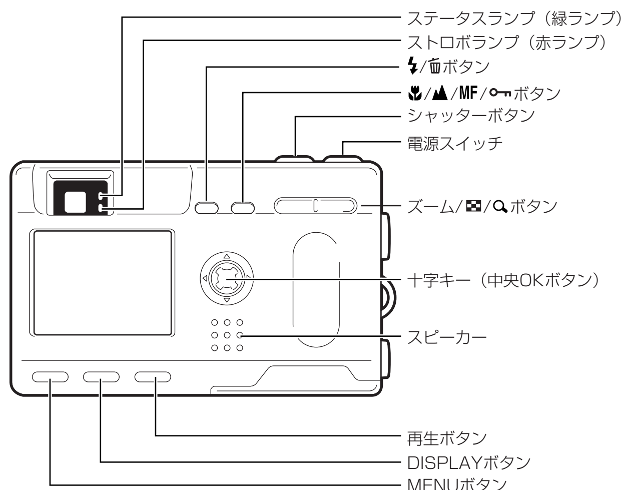
前面



背面



操作部の名称



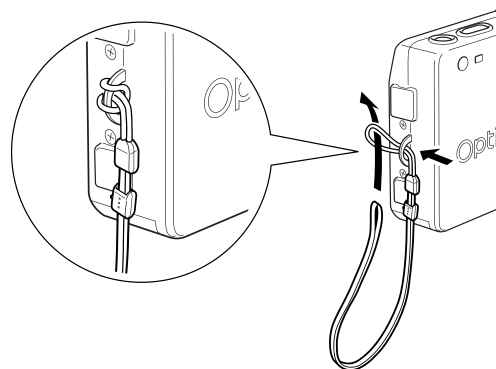
●ガイド表示について

操作中は液晶モニタにボタン操作のガイドが表示されます。
ガイド表示では、ボタンは次のように表されます。

十字キー（▲）	▲
十字キー（▼）	▼
十字キー（◀）	◀
十字キー（▶）	▶
MENUボタン	MENU

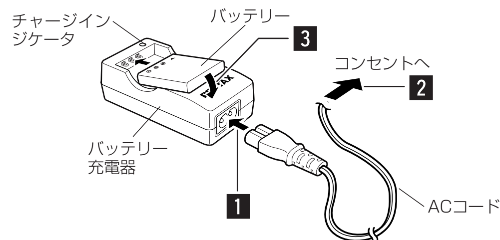
ズーム//ボタン（デジタルズーム、拡大再生時のみ）	
DISPLAYボタン	DISP
ボタン	
ボタン	

ストラップを取り付ける



ストラップの細いひもを、ストラップ取り付け部に通して取り付けます。

電源を準備する



バッテリーを充電する

はじめてご使用になるときや、「電池容量が無くなりました。」というメッセージが表示されたときは、バッテリーを充電してください。

1 **バッテリー充電器にACコードを接続する**

2 **ACコードをコンセントに差し込む**

3 **バッテリーを「PENTAX」の文字が見えるようにセットする**
充電中はチャージインジケータが赤色に点灯します。
充電が完了すると、チャージインジケータが緑色に点灯します。

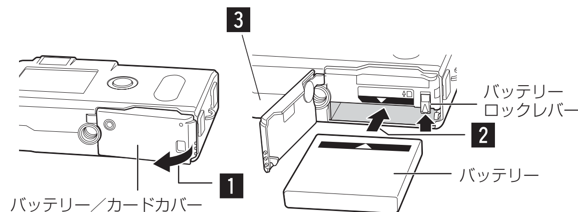
4 **充電終了後、バッテリー充電器からバッテリーを取り出す**



・充電時間は、最大で約100分です。周囲の温度が0℃～40℃の範囲で充電してください。
・充電時間は、周囲の温度や充電状態によって異なります。
・バッテリーの寿命がくると、正しい充電を行なっても使用できる時間が短くなります。新しいバッテリーと交換してください。



・お買い上げ時や長期間使わなかったバッテリーはご使用になる前に、必ず充電してください。
・付属のバッテリー充電器キットK-BC8Jでは、専用の充電式リチウムイオンバッテリーD-LI8以外のバッテリーは充電しないでください。充電器の破損や発熱の原因となります。
・バッテリーを正しい向きにセットしてもインジケータランプが点灯しない場合は、バッテリーの異常です。新しいバッテリーと交換してください。



バッテリーをセットする

同梱のバッテリーをセットします。はじめてご使用になるときは、バッテリーを充電してからセットしてください。

1 **バッテリー／カードカバーを矢印の方向に引き上げる**

2 **バッテリーロックレバーを矢印の方向に押し、バッテリーの▼マークを液晶モニタ側に向けながらロックされるまで挿入する**

3 **バッテリー／カードカバーを閉じる**
バッテリーを取り出すときは、バッテリーロックレバーをバッテリー挿入時と同じ方向に手で押すとバッテリーが少し飛び出すので、バッテリーを引き抜いて取り出してください。



長時間連続してご使用になるときは、ACアダプタキット(K-AC8J、別売）をご使用ください。（p.13）



・電源スイッチがオンのときは、バッテリーを取り出さないでください。
・カメラを長時間使用しない場合は、バッテリーを取り出した状態で保管してください。
・バッテリーを長時間取り出していると、日時の設定がリセットされることがあります。
・バッテリーは正しく入れてください。間違った向きに入れると、故障の原因になります。
・バッテリー／カードカバーを開いた状態で必要以上にねじらないでください。破損する恐れがあります。

●使用時間の目安（専用バッテリーD-LI8フル充電時）

撮影可能枚数　：約160枚（ストロボ使用率50%、液晶モニタオン）
再生時間　　　：約110分

・この数値は、当社の測定条件によるものです。撮影モード、撮影状況により異なります。

注意
・使用環境温度が下がると、バッテリーの性能が低くなることがあります。
・海外旅行、寒冷地での撮影や写真をたくさん撮るときは、予備電池をご用意ください。

●バッテリーの残量表示

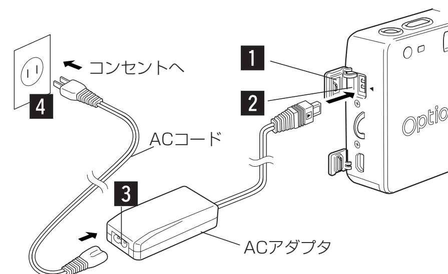
液晶モニタに表示された ▥ で、バッテリーの残量を確認できます。

▥（緑点灯）	：	バッテリーがまだ十分に残っています。
▥（緑点灯）	：	少し減った状態
▥（黄点灯）	：	だいぶ減った状態
□（赤点灯）	：	残量がほとんどありません。
「電池容量が無くなりました。」	：	メッセージの表示後、電源オフとなります。

●リサイクルについて


Li-ion

このマークは小型充電式電池のリサイクルマークです。ご使用済みの小型充電式電池の廃棄に際しては、端子部に絶縁テープをはって、小型充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。



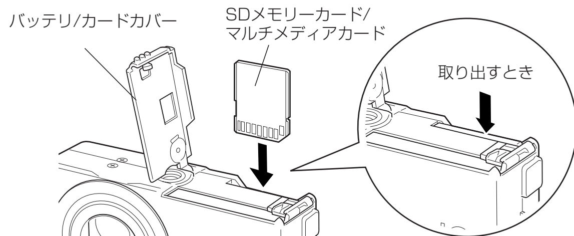
ACアダプタを使用する

液晶モニタを長時間ご使用になるときや、パソコンと接続するときは、ACアダプタキットK-AC8J（別売）のご使用をおすすめします。

1 カメラの電源が切れていることを確認してから、端子カバーを開ける
2 ACアダプタのDC端子を、カメラのDC入力端子に「◀」マークを合わせて接続する
3 ACコードをACアダプタに接続する
4 コンセントに電源プラグを差し込む

注意
・ACアダプタを接続または外すときは、必ずカメラの電源が切れた状態で行なってください。
・電源および接続ケーブルは、しっかりと差し込んでください。記録中にケーブルが外れると、データが破壊されることがあります。
・ACアダプタをご使用になるときはACアダプタキットK-AC8Jの使用説明書をあわせてご覧ください。
・DC端子を接続するときは、必ず「◀」マークを合わせてください。無理に差し込むと破損の恐れがあります。

SDメモリーカード／マルチメディアカードをセットする



このカメラで使用できるカードは、SDメモリーカードとマルチメディアカードです。撮影した画像は、SDメモリーカード／マルチメディアカードまたは内蔵メモリに記録されます。カードをセットして撮影したときはカードに、カードをセットしていないときは内蔵メモリに記録されます。SDメモリーカード／マルチメディアカードをセットするときや取り出すときは、必ず電源をオフにしてください。

1 **バッテリー／カードカバーを開ける**

2 **SDメモリーカード／マルチメディアカードのラベル（▲印のある）面を液晶モニタ側に向け、カチッと音がするまで押し込む**

3 **バッテリー／カードカバーを閉じる**
カードを取り出すときは、カードを矢印の方向に押し込むとカードが少し飛び出すので、カードを引き抜いて取り出してください。

●記録サイズ/画質と撮影可能枚数の目安

画質 / 記録サイズ	S.ファイン /★★★	ファイン /★★	エコノミー /★	動画 (320×240)
2048×1536	7	13	19	30秒×3セット
1600×1200	11	20	28	
1024× 768	26	47	62	
640× 480	57	89	119	

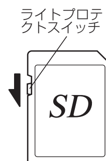
・表の数値は、16MBのSDメモリーカードを使用した場合の枚数です。
・この数値は、当社で設定した標準撮影条件によるもので、被写体、撮影状況、撮影モード、使用するSDメモリーカードなどにより変わります。

●データバックアップのおすすめ

内蔵メモリに記憶したデータは、まれに読み出しができなくなることがあります。大切なデータはパソコンなどを利用して、内蔵メモリとは別の場所に保存しておくことをおすすめします。

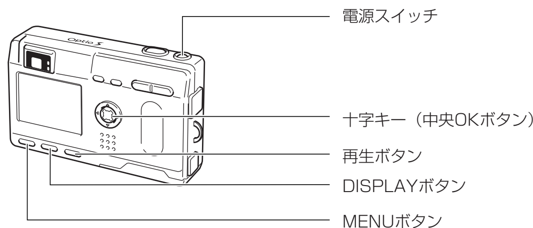
●SDメモリーカード／マルチメディアカード使用上の注意

・バッテリー／カードカバーを開けるときは、必ず電源を切った状態で行ってください。
・SDメモリーカードには、ライトプロテクトスイッチが付いています。スイッチを「LOCK」側に切り替えると、新たにデータを記録、消去またはカードのフォーマットをすることが禁止され、それまで保存したデータが保護されます。



・カメラ使用直後にSDメモリーカード／マルチメディアカードを取り出すと、カードが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
・SDメモリーカード／マルチメディアカードへのデータ記録中や、画像・音声の再生中、またはUSBケーブルでパソコンと接続中には、カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。データの破損やカードの破損の原因となります。
・SDメモリーカード／マルチメディアカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
・未使用または他のカメラで使用したカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。フォーマットについては「カード／内蔵メモリをフォーマットする」（p.108）をご覧ください。
・SDメモリーカード／マルチメディアカードのフォーマット中には絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
・SDメモリーカード／マルチメディアカードに保存したデータは、以下の条件で消去される場合がありますので、ご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  ・使用者がSDメモリーカード／マルチメディアカードの取り扱いを誤ったとき
  ・SDメモリーカード／マルチメディアカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
  ・長期間カードを使用しなかったとき
  ・SDメモリーカード／マルチメディアカードにデータ記録中、またはデータ読み出し中にカードを取り出したり、ACアダプタやバッテリーを抜いたとき
・SDメモリーカード／マルチメディアカードには寿命があります。長期間使用しない場合は、保存したデータが読めなくなることがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアップを取るようにしてください。
・静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用や、保管は避けてください。
・急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用や保管は避けてください。

初期設定をする

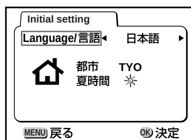


カメラの電源を入れたときに、「Initial Setting」（初期設定）の画面が表示された場合は、下記の手順にしたがって、言語と現在の日時を設定してください。日時設定の画面が表示された場合は、次ページの「日時を設定する」の手順に従って現在の日時を設定してください。なお、はじめてカメラの電源を入れたときに、液晶モニタの右下に日時が表示され、それが現在の日時と異なる場合は、「日付/時刻を変更する」（p.112）にしたがって、正しい日時を設定してご使用ください。

言語を設定する

使用する言語を日本語に設定します。

1 十字キー（◀▶）を押して、「日本語」を選ぶ
「日本語」を選んだときに都市（ホームタイム）、夏時間（サマータイム）が右図のように表示されていたら、手順6に進んでください。



2 十字キー（▼）を押す
緑の四角枠が都市に移動します。

3 十字キー（◀▶）を押して、TYO（東京）を表示させる

4 十字キー（▼）を押す

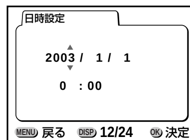
5 十字キー（◀▶）を押して、☼を☼に設定する

6 OKボタンを押す
日時を設定する画面が表示されます。

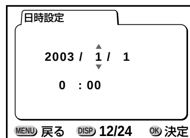
日時を設定する

現在の日付と時刻を設定します。

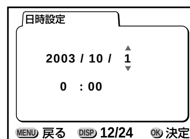
1 十字キー（▲▼）を押して、西暦年を設定する



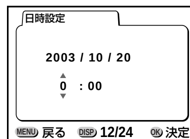
2 十字キー（▶）を押す
「月」の上下に▲▼が表示されます。



3 十字キー（▲▼）で月を設定し、十字キー（▶）を押す
「日」の上下に▲▼が表示されます。

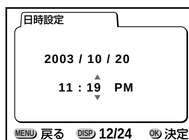


4 3を繰り返して、「日」「時」「分」を設定する



準備

5 DISPLAYボタンで「12時間/24時間表示」を切り替える



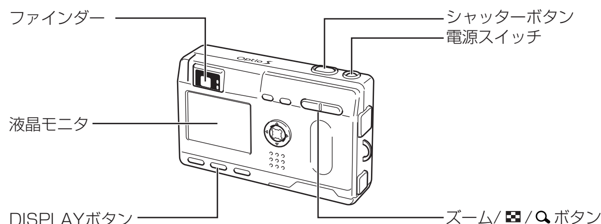
6 設定が終了したら、OKボタンを押す

撮影できる状態になります。メニュー操作で設定した場合はメニュー画面に戻りますので、もう一度OKボタンを押してください。



- 設定終了後、時報などに合わせてOKボタンを押すと、0秒にセットされます。
- 初期設定の途中でMENUボタンを押すと、それまで設定した内容がキャンセルされますが、撮影することはできます。この場合は、次回電源を入れたときに再度、初期設定を行う画面が表示されます。
- ここで設定した内容は、設定後メニュー操作で変更することができます。メニューの呼び出し方は「日付/時刻を変更する」（p.112）をご覧ください。

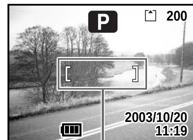
静止画を撮影する



簡単に静止画を撮影します。ストロボは明るさに応じて自動的に発光します。

1 電源スイッチを押す
電源がオンになります。

2 液晶モニタを見る
液晶モニタの中央のフォーカスフレームの中が、自動でピントが合う範囲です。ズームボタンを押すと被写体の大きさが変わります。



フォーカスフレーム

被写体が大きく写ります。
被写体が小さく写ります。

ファインダーをのぞいて、被写体の大きさを確認することができます。



フォーカスフレームはファインダー内には表示されません。ピントを合わせる範囲は、必ず液晶モニタで確認してください。

3 シャッターボタンを押す
撮影した画像が液晶モニタに1秒間表示（クイックビュー）されます。撮影した画像はSDメモリーカード／マルチメディアカード、または内蔵メモリーに保存されます（保存中はファインダー横の緑ランプと赤ランプが交互に点滅します）。

シャッターボタンの押しかた

シャッターボタンは「半押し」と「全押し」の2段階になっています。

●半押し

シャッターボタンを軽く押すと（半押し）、ピント位置、露出、ホワイトバランスがロックされます。シャッター速度、絞り値は、シャッターボタンを半押ししたときだけ表示されます。液晶モニタやステータスランプ、ストロボランプは次のような情報を表します。

①フォーカスフレーム
ピントが合うと枠が緑色に点灯します。ピントが合っていないときは表示されません。

②ステータスランプとストロボランプ

	ステータスランプ（緑）	ストロボランプ（赤）
点灯	ピントが合っています	ストロボ発光表示
点滅	ピントが合っていません	充電中

ストロボ充電中は撮影できません。

●全押し

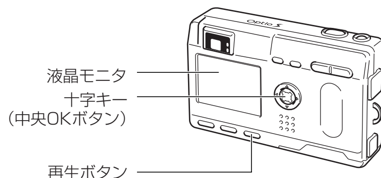
シャッターボタンを下まで押すと（全押し）、撮影されます。

クイックビュー

撮影直後に画像が表示される「クイックビュー」は、初期設定では1秒間表示されます。クイックビュー表示中に 🗑 ボタンを押すと、「消去」メニューが表示されます。「消去」を選び、OKボタンを押すとその画像を消去することができます。
また、クイックビュー表示中にOKボタンを押すと、「ボイスメモ」により音声を録音することができます。（→ p.76）

クイックビューの表示時間を設定する ☞ p.46

静止画を再生する



画像を再生する

静止画を再生します。

1 撮影後に再生ボタンを押す
撮影した画像が液晶モニタに表示されます。

前後の見たい画像を再生する

静止画を前後に一枚ずつ送って再生します。

1 撮影後に再生ボタンを押す
撮影した画像が液晶モニタに表示されます。

2 十字キー（◀▶）を押す

◀ 前の画像が表示されます。

▶ 次の画像が表示されます。

表示した画像を消去するには

画像表示中に🗑ボタンを押すと、消去画面が表示されます。十字キー（▲）を押して「消去」を選び、OKボタンを押すとこの画像を消去することができます。
もう一度再生ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しすると、撮影できる状態に戻ります。





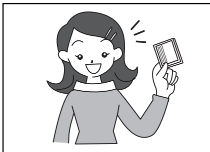
- 再生画面に切り替えると「ファイルNo.」の数字の最も大きい画像が最初に表示されます。
- 液晶モニタに表示された画像は、ズーム/ ▦ /🔍ボタンで拡大して見ることもできます。
- 再生ボタンを押しながら電源をオンにすると、再生専用モードで起動します。再生専用モードではレンズが前に出ないで起動するので、その場で他の人に画像を見てもらうときに、レンズに触ることなく、安心して見ることができます。「撮影モード」に切り替えるには、一旦電源をオフにしてから、もう一度オンにしてください。
- 動画は、1コマ目の画像が表示されます。
- 画像が保存されていないときは、「画像がありません」と表示されます。

ボイスメモを付ける ☞ p.76
拡大して再生する ☞ p.77

クイックスタート

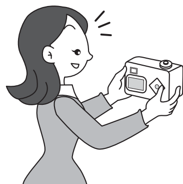
SDメモリーカード／マルチメディアカードの活用方法

このカメラで撮影した画像は内蔵メモリの他、SDメモリーカード／マルチメディアカードに記録することができます。SDメモリーカード／マルチメディアカードに記録された画像は、カメラ本体で見たり、パソコンに転送したり、プリントしたりできます。



カメラで見る

デジタルカメラの便利なところは、撮ったその場ですぐに画像を確認できること。構図や明るさを確認して、失敗してもまた撮り直しできます。



静止画を再生する ☞ p.77

テレビで見る

みんなでわいわい見るときは、テレビ再生が便利。ビデオケーブルでカメラをテレビに接続すると、画像をテレビ画面で見ることができます。

テレビで画像を見る ☞ p.86



パソコンで見る

カメラをパソコンにUSBケーブルで接続して、画像を読み込ませるだけで、撮った画像をパソコンで見たりパソコンに転送して加工したりできます(USBドライバのインストールが必要です)。また、カメラからSDメモリーカード／マルチメディアカードを取り出してカードリーダを使ってデータを転送したり、ノートパソコンの場合は、SDメモリーカード／マルチメディアカードをセットしたカードアダプタをカードスロットに挿入して画像データを転送できます。(カメラからSDメモリーカード／マルチメディアカードを取り出して、他の機器を利用して画像を転送する場合は、お使いになる機器の使用説明書もご覧ください。)

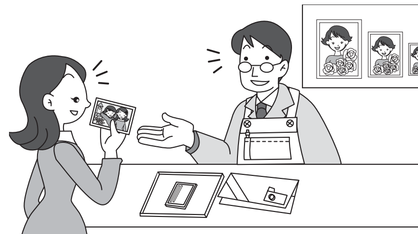
Windowsパソコンで画像を見る ☞ p.94
Macintoshで画像を見る ☞ p.104



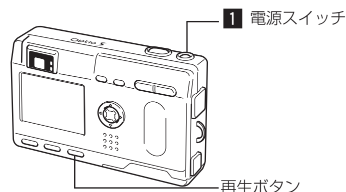
プリントサービスで見る

画像を記録したSDメモリーカード／マルチメディアカードをプリント取扱い店に持っていくと、従来の写真と同様にプリント注文できます。あらかじめDPOF(Digital Print Order Format)の設定をしてからDPOF対応のプリント取扱い店に持っていくと、プリント枚数を指定したり、写真に日付を入れることができます。

プリントサービスの設定をする（DPOF）☞ p.87



電源をオン/オフする



1 電源スイッチを押す（電源ボタンの周りが緑色に点灯します）。

電源がオンになります。
電源をオンにすると、レンズが前に出ます。
もう一度電源スイッチを押すと、電源がオフになります。

再生専用モード

再生ボタンを押しながら、電源をオンにすると、「再生専用モード」で起動します。

- 「再生専用モード」で起動させると、レンズは閉じたままで前に出てきません。
- 「再生専用モード」から「撮影モード」へ切り替えるには、一旦電源をオフにしてから、もう一度オンにしてください。

静止画を再生する ☞ p.77

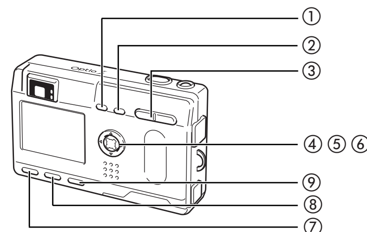
ボイスレコーダーモード

電源スイッチを2秒以上押し続けると、「録音専用モード」で起動します（電源ボタンの周りが赤色に点灯します）。

- 「録音専用モード」から、「撮影専用モード」、「再生専用モード」へ切り替えるには、一旦電源をオフにしてから、もう一度オンにしてください。

音声だけを録音する ☞ p.74

ボタンの機能を使用する



撮影モード時

①⚡ボタン
ストロボの発光方法を切り替えます。（☞ p.37）

②🌷▲MFボタン
撮影方法を次のように切り替えます。（☞ p.35）
マクロモード（☞ p.35）
スーパーマクロモード（☞ p.35）
遠景モード（☞ p.35）
マニュアルフォーカス（☞ p.36）
AFエリア移動モード（☞ p.36）

③ズームボタン
被写体の大きさを変えます。（☞ p.20）

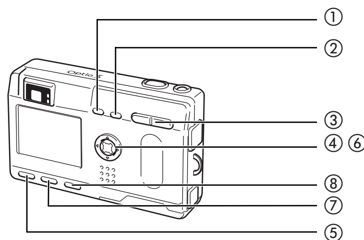
④十字キー（◀▶）
露出補正をします。（☞ p.50）
Fn設定で他の機能を割り当てることもできます。（☞ p.118）
バーチャルモードダイヤルでデジタルフィルタの「スリムフィルタモード」を設定したときは縦横比を調整します。
（☞ p.58）

⑤十字キー（▲▼）
（▲）セルフタイマー撮影、リモコン撮影、連続撮影を選びます。
（▼）バーチャルモードダイヤルを表示して撮影モードを切り替えます。
MFモードでピントを合わせます。（☞ p.36）

⑥OKボタン
メニュー項目を決定します。（☞ p.30）

⑦MENUボタン
「撮影機能」「再生機能」「詳細設定」のメニュー項目を表示します。
（☞ p.30）

⑧DISPLAYボタン
液晶モニタに表示される情報を切り替えます。(☞ p.38、79)
⑨再生ボタン
再生モードに切り換えます。(☞ p.22)

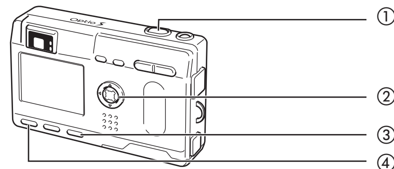


再生モード時

①🗑ボタン
画像を消去します。(☞ p.82)
②O━ボタン
画像を消去できないようにします。(☞ p.85)
③ズーム/▦/🔍ボタン
「通常再生」時に▦を押すと、一度に9画像を表示します。(☞ p80)
「拡大再生」時に液晶モニタに表示される画像の大きさを変えます。(☞ p.77)
④十字キー
(▲)プリントサービス用のDPOFの設定をします。(☞ p.87)
(◀▶)前後の見たい画像を表示します。(☞ p.23)
⑤MENUボタン
「再生機能」「詳細設定」のメニューを表示します。(☞ p.30)
⑥OKボタン
メニュー項目を決定します。(☞ p.30)
⑦DISPLAYボタン
液晶モニタに表示される情報を切り替えます。(☞ p.38、79)
⑧再生ボタン
撮影モードに切り換えます。(☞ p.22)



・再生専用モードで起動した場合、再生ボタンを押しても撮影モードには切り換わりません。



ボイスレコーダーモード時

①シャッターボタン
ボタンを押すと録音を開始し、もう一度押すと録音を停止します。
②十字キー
(▲)再生を開始します。再生中は再生を一時停止します。
(◀▶)再生前は録音したファイルを選びます。
インデックスがない場合
再生中に(◀)を押すと約5秒戻ります。
再生中に(▶)を押すと約5秒進みます。
インデックスがある場合
再生中に(◀)を押すと前のデータから再生します。
再生中に(▶)を押すと次のデータから再生します。
③再生ボタン
録音モードと再生モードに切り換えます。
④MENUボタン
録音中に押すとインデックスを付けることができます。



シャッターボタンを1秒以上押し続けると、押している間だけ録音し、ボタンを離すと録音を停止します。

MENUを設定する

MENUボタンを押すと、液晶モニタにメニューが表示されます。メニューを使用して、機能の設定や設定した内容をメモリ（保存）したり、カメラの設定を変更することができます。

メニューの操作方法

メニュー操作中は、液晶モニタにガイドが表示されます。

1 MENUボタンを押す
メニュー画面が表示されます。選択されている部分は緑の四角枠で表示されます。

2 十字キー（◀▶）を押す
十字キー（◀▶）でメニュー画面が切り替わります。

3 十字キー（▲▼）で項目を選択する
十字キー（▲▼）で選択枠が上下に移動します。

4 十字キー（◀▶）で設定を切り替える

4´ または選択画面があるときは、十字キー（▶）で選択画面に移行する
設定が終了したら、OKボタンでメニュー画面に戻ります。

5 OKボタンを押す
設定が保存され、撮影または再生できる状態に戻ります。



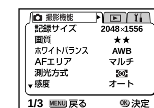
- ・OKボタンを押して設定を保存する前に、OKボタン以外のボタンを押してメニュー画面を閉じると、設定は保存されません。
- ・OKボタンを押してメニュー画面を閉じても、電源をオンにしたまま電池を取り出したりするなど誤った操作で電源をオフすると設定は保存されません。

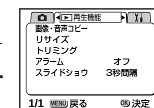
操作の一例

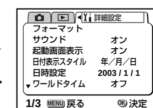
1 MENUボタン

2

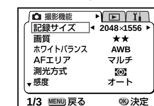
「撮影機能」メニュー　「再生機能」メニュー　「詳細設定」メニュー



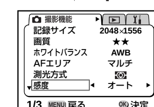


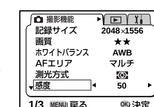


3



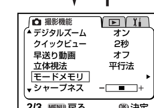
3　4

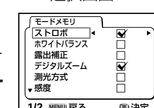




3　4´

選択画面





3

次のメニュー画面



- ・メニュー表示中にシャッターボタンを半押しすると撮影モード（再生専用モードの場合は再生画面）に切り替わりますが、設定は保存されません。
- ・撮影モードからメニューを表示させると「撮影機能」メニューが表示され、再生モードからメニューを表示させると「再生機能」メニューが表示されます。

メニュー一覧

●「撮影機能」メニュー

○…設定の変更がすべて作動に反映します
×…設定の変更は無効です

項目	内容	初期値	P ピクチャーモード 3D USER	動画	参照
記録サイズ	画像の画素数が選べます	2048×1536	○	320×240に固定	p.39
画質	画像の圧縮率が選べます	★★	○	×	p.40
ホワイトバランス	撮影時の光の状態に合わせて色を調整します	AWB（オート）	○	○	p.41
AFエリア	オートフォーカスの対象になる範囲を変更します	[　　] (マルチ)	○	×	p.43
測光方式	露出を決定する測光方式を設定します	（分割）	○	○	p.44
感度	感度を設定します	Auto（オート）	○	×	p.45
デジタルズーム	デジタルズーム撮影ができます	オン	○	○	p.69
クイックビュー	クイックビューの表示時間を設定します	1秒	○	×	p.46
早送り動画	動画撮影のフレームレートを設定します	オフ	×	○	p.71
立体視法	3D写真の鑑賞方法を設定します	平行法	○（3Dのみ）	×	p.61
モードメモリ	電源オフ時に撮影機能の設定値をメモリします	標準	○	○	p.72
シャープネス	シャープネスを設定します	標準	○	×	p.47
彩度	彩度を設定します	標準	○	×	p.48
コントラスト	コントラストを設定します	標準	○	×	p.49
露出補正	−2.0～+2.0の間で露出を補正します	±0.0	○	○	p.50



「×」の項目は、メニュー画面上では設定を変更できますが、作動には反映されません。

●「再生機能」メニュー

項目	内容	参照
画像・音声コピー	内蔵メモリーとSDメモリーカード間でファイルをコピーします	p.93
リサイズ	画像のサイズを変更します	p.90
トリミング	画像をトリミングします	p.92
アラーム	決まった時刻にアラームを鳴らします	p.120
スライドショウ	保存された画像を連続して再生します	p.81

●「詳細設定」メニュー

項目	内容	参照
フォーマット	SDメモリーカード／マルチメディアカードまたは内蔵メモリをフォーマットします	p.108
サウンド	音量、起動音、シャッタ音、操作音を設定します	p.109
起動画面表示	電源を入れたときの起動画面を設定します	p.110
日付表示スタイル	日付の表示形式を設定します	p.111
日時設定	日付/時刻を設定します	p.112
ワールドタイム	ワールドタイムを設定します	p.112
Language/言語	メニューやメッセージを表示する言語を切り替えます	p.114
ビデオ出力	ビデオ出力方式を設定します	p.115
スリープ	節電機能を設定します	p.116
オートパワーオフ	自動的に電源が切れるようにします	p.116
クイック消去	オンに設定すると「消去」「全画像」が選択された状態で消去画面が表示されます	p.117
クイック拡大	ズームボタンを一度操作するだけで画面を最大拡大倍率で再生するように設定します	p.117
Fn設定	十字キー（◀▶）に機能を登録します	p.118
リセット	設定を初期値に戻します	p.119

撮影のための機能を設定する

モードを切り替える

撮影ができる状態を撮影モード、再生や消去ができる状態を再生モードといいます。

撮影モードと再生モードを切り替える

- 撮影モードから再生モードへは、再生ボタンを押して切り替えます。
- 再生モードから撮影モードへは、再生ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しして切り替えます。

撮影モードを選ぶ

撮影モードはバーチャルモードダイヤルを表示して選択します。8種類の撮影モードがあります。

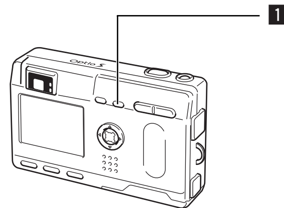
P	標準モード	すべての機能を設定して撮影できます。	p.20
(初期値)	ピクチャーモード	撮影するシーンにあわせた設定で撮影します。7種類のピクチャーモードが用意されています。	p.52
	夜景モード	夜景など暗いシーンを撮影します。	p.53
	動画モード	動画を撮影します。	p.54
	パノラマアシストモード	パノラマを設定して撮影します。	p.56
3D	3D 撮影モード	3D 画像を撮影します。	p.61
	デジタルフィルタモード	カラーフィルタを設定して撮影します。	p.58
USER	ユーザー	各種の機能を設定しておくと、電源を入れるたびにその設定で動作します。	p.60



1 撮影モードで十字キー（▼）を押す
バーチャルモードダイヤルが表示されます。

2 十字キー（◀▶）で設定したいモードの絵記号をダイヤルの上に移動させる
絵記号が緑の枠で囲まれます。

3 OKボタンを押す



フォーカスの設定を変える

●フォーカスモード

（表示なし）	オートフォーカスモード	シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにあるものにピントを合わせます。被写体までの距離が40cm以上のときに使用します。
	マクロモード	被写体までの距離が約18cm〜50cmのときに使用します。シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにあるものにピントを合わせます。
	スーパーマクロモード	被写体までの距離が約6cm〜20cmのときに使用します。シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにあるものにピントを合わせます。
▲	遠景モード	遠くにあるものを撮影するときに使用します。
MF	マニュアルフォーカスモード	手動でピントを合わせます。
AF	AFエリア移動モード	オートフォーカスの対象となる範囲（AFエリア）の位置を変更します。

1 撮影モードで ▲ MFボタンを押す
押すたびにフォーカスモードが切り替わり、設定値が液晶モニタに表示されます。
設定したフォーカスモードで撮影できます。



- フォーカスモードの初期値は「オートフォーカスモード」です。
- 「スーパーマクロモード」では、ズームが中間位置に固定され、デジタルズームのみ使用できます。
- 動画モード（☞ p.54）、では、「オートフォーカスモード・遠景モード・マニュアルフォーカスモード」のみになります。
- 「スーパーマクロモード」では、ストロボは発光しません。

注意

フォーカスモードを「マクロモード・スーパーマクロモード」に設定しているときは、ファインダーを見ながら撮影すると、撮影範囲がずれます。必ず液晶モニタで確認してください。

マニュアルでフォーカスを設定する

MFに設定すると、ピント調節時、画面中央部が液晶モニタいっぱいに拡大表示されます。表示されたモニタ画像インジケータを見ながら、十字キーでピントをあわせます。


遠くにピントが合います。


近くにピントが合います。

フォーカス位置が決まったら、十字キー（▲▼）以外のボタンを押すか、または十字キーから指を離して約2秒たつと、通常の撮影画面に切り替わります。



・デジタルズーム領域を使用時は拡大表示されません。

フォーカスモードを保存する ☞ p.72

ピントの合う位置を変える

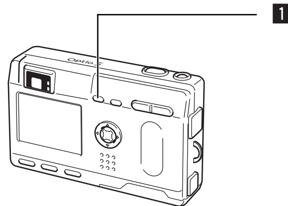
オートフォーカスモードでは、フォーカス枠を移動させてピントの合う位置を変更することができます。

1 AFエリア移動モードで十字キー（▲▼◀▶）を押してフォーカス枠を移動させる

2 シャッターボタンを押す

フォーカス枠を元に戻すには、再度 MFボタンを押します。

撮影



ストロボの発光方法を選択する

(表示なし)	オート	明るさに応じて自動的にストロボを発光します。
	発光禁止	明るさにかかわらず常にストロボは発光しません。
	強制発光	明るさにかかわらず常にストロボを発光します。
	オート＋赤目軽減	ストロボの光が目に反射して、赤く写るのを軽減します。自動的にストロボを発光します。
	強制発光＋赤目軽減	ストロボの光が目に反射して、赤く写るのを軽減します。常にストロボを発光します。



・撮影モードが にセットされているか、連続撮影、または遠景モードに設定されているときは、常に発光禁止になります。
・本機は、ストロボ発光の際、2回のプリ発光（予備発光）の後、3回目の発光で撮影を行います（赤目軽減機能を使用した場合は、プリ発光と3回目の発光の間隔が長くなります）。
・フォーカスモードを「マクロ」にした場合、プリ発光は行いません（赤目軽減機能を併用した場合は、プリ発光が1回だけ行われます）。

1 撮影モードで ボタンを押す

押すたびに発光方法が切り替わり、マークが液晶モニタに表示されます。
設定したストロボ発光方法で撮影ができる状態になります。

ステータスランプとストロボランプの状態 ☞ p.21
ストロボ発光方法を保存する ☞ p.72

注意

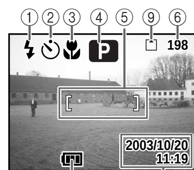
「マクロモード」でストロボを使用すると、画像が白トビ（露出オーバー）になることがあります。

撮影

撮影情報を表示する（DISPLAYモード）

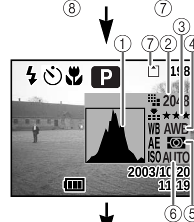
DISPLYボタンを押すたびに、液晶モニタの表示が切り替わります。

DISPLAYオン



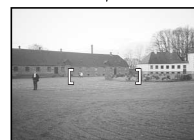
電源をオンしたときに表示される状態です。撮影情報を表示します。
①ストロボ　②撮影方法
③フォーカスモード　④撮影モード
⑤AFフレーム　⑥撮影可能残量　⑦日時
⑧バッテリーマーク　⑨カード／内蔵メモリ

ヒストグラム表示



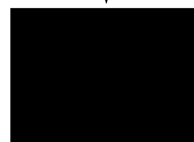
明度分布を表示します。横軸は明るさ（左端が最も暗く、右端が最も明るい）、縦軸はピクセル数を表わします。
①ヒストグラフ　②記録サイズ
③画質　④ホワイトバランス
⑤測光方式　⑥感度
⑦カード／内蔵メモリ

DISPLAYオフ



撮影情報を表示しません。
- オートフォーカス時には、AFフレームが表示されます。
- 設定を変更したときは、数秒間、設定内容を表示します。

液晶モニタオフ

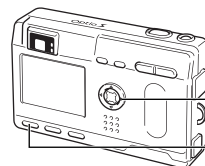


液晶モニタをオフにします。（再生モードでは、液晶モニタオフにはなりません。）

DISPLAYオン

注意　・ 、3D、 、 では、液晶モニタオフはできません。

DISPLAYモードの設定を保存する ☞ p.72





P ピクチャーモード 3D USER

記録サイズを選択する

画像の記録画素数を「2048×1536」「1600×1200」「1024×768」「640×480」から選べます。
画素数が多くなるほど、画像が大きくなり容量も増えます。また、画像の容量は設定している画質によっても異なります。

2048×1536	A4サイズでの印刷などに適しています。
1600×1200	A5サイズでの印刷などに適しています。
1024×768	はがきサイズでの印刷などに適しています。
640×480	電子メールへの添付やホームページ作成用に適しています。

1 「撮影機能」メニューの「記録サイズ」を選ぶ

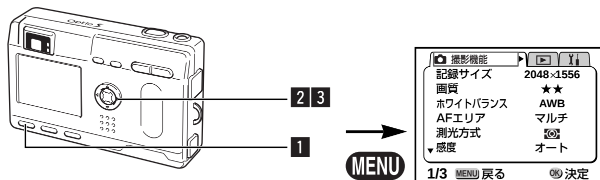
2 十字キー（◀▶）で記録サイズを切り替える



3 OKボタンを押す
撮影ができる状態になります。



- 「動画モード」では「320×240」に固定されます。
- 記録サイズを大きくすると、プリントしたときに、より鮮明な画像が得られます。



P ピクチャーモード 3D USER

画質を選択する

画像の圧縮率が選べます。
★の数が多いほど、画質はきれいになり容量も増えます。
また、画像の容量は、設定している記録サイズによっても異なります。

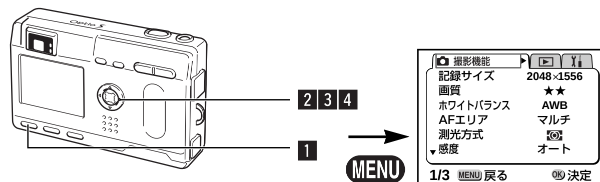
★★★	S.ファイン	圧縮率が最も低く、写真用のプリントなどに適しています。
★★	ファイン	圧縮率が標準で、パソコンの画面で画像を見るときに敵しています。
★	エコノミー	圧縮率が最も高く、電子メールへの添付やホームページ作成用に適しています。

1 「撮影機能」メニューの「画質」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で記録サイズを選ぶ



3 OKボタンを押す
撮影ができる状態になります。



P ピクチャーモード 3D USER

ホワイトバランスを調整する

撮影時の光の状態に応じて画像を自然な色あいに調整できます。

AWB	オート	調整をカメラにまかせます。
☼	太陽光	太陽の下で撮影するときに設定します。
	日陰	日陰で撮影するときに設定します。
	白熱灯	電球など白熱灯で照明されたものを撮影するときに設定します。
	蛍光灯	蛍光灯で照明されたものを撮影するときに設定します。
	マニュアル	手動で調整して撮影するときに設定します。

1 「撮影機能」メニューの「ホワイトバランス」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す
ホワイトバランス選択画面が表示されます。



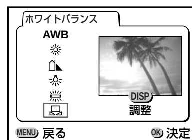
3 十字キー（▲▼）で設定を選ぶ

4 OKボタンを2回押す
撮影できる状態になります。

ホワイトバランスを保存する ☞ p.72

マニュアルで設定する

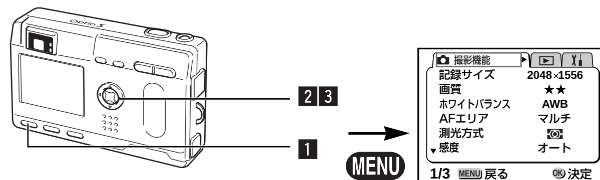
1 **ホワイトバランス選択画面で (マニュアル)を選ぶ**



2 **白い紙等を画面いっぱいに入れる**

3 **DISPLAYボタンを押す**
ホワイトバランスが自動調整されると、液晶モニタに「完了」と表示され、メニュー画面に戻ります。

4 **OKボタンを押す**
撮影できる状態に戻ります。





P ピクチャーモード 3D USER

オートフォーカス範囲を設定する

オートフォーカスの対象となる範囲（AFエリア）を変更できます。

[ ]	通常範囲（マルチ）
[ ]	フォーカスが合う範囲を狭くします（スポット）

1 **「撮影機能」メニューの「AFエリア」を選ぶ**

2 **十字キー（◀▶）でAFエリアを切り替える**



3 **OKボタンを押す**
撮影できる状態に戻ります。

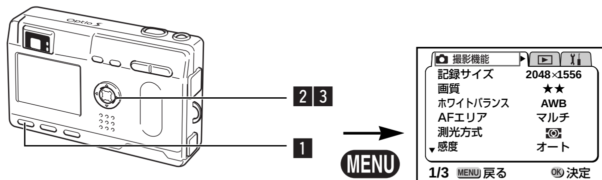


AFエリアは、ファインダー内には表示されません。ピントを合わせる範囲は、必ず液晶モニタで確認してください。

AFエリアの設定を保存する ☞ p.72

撮影

撮影



P ピクチャーモード 3D USER

測光方式を設定する

画面のどの部分で明るさを測り、露出を決定するのかを設定します。

	分割	画面全体をきめ細かく測光して露出を決定します。
	中央部重点	画面中央を重点的に測光して露出を決定します。
	スポット	画面の中央のみを測光して露出を決定します。

1 「撮影機能」メニューの「測光方式」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で測光方式を選ぶ

3 OKボタンを押す

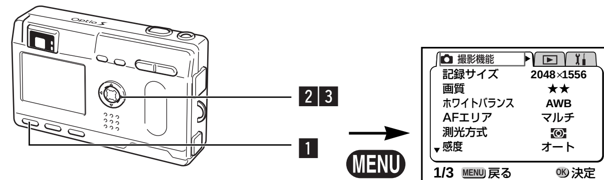
撮影できる状態になります。



測光方式を保存する ☞ p.72



スポット測光では、AFエリア移動に連動して測光ポイントが移動します。



P ピクチャーモード 3D USER

感度を設定する

撮影する場所の明るさに応じて、感度を設定することができます。

●感度

オート	設定をカメラにまかせます（Auto）
50	・感度が低い（数字が小さい）ほど、ノイズの少ないシャープな画像が得られます。暗い場所ではシャッター速度が遅くなります。 ・感度が高い（数字が大きい）ほど、暗い場所でもシャッター速度を速くできます。画像にはノイズが増えます。
100	
200	

1 「撮影機能」メニューの「感度」を選ぶ

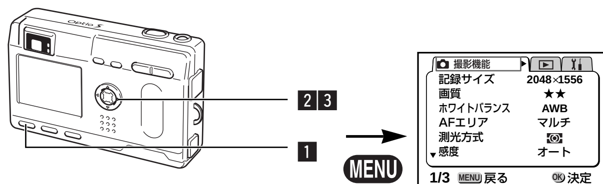
2 十字キー（◀▶）で感度を選ぶ

3 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。



感度を保存する ☞ p.72



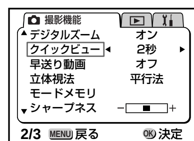
P ピクチャーモード USER

クイックビューの時間を設定する

クイックビューの表示時間を0.5秒、1秒、2秒、3秒、4秒、5秒、オフ（表示しない）から選べます。

1 「撮影機能」メニューの「クイックビュー」を選ぶ

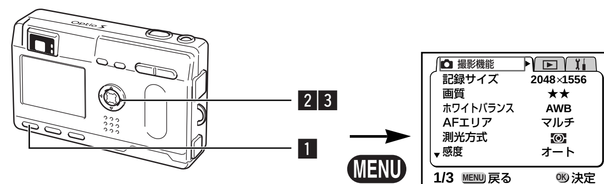
2 十字キー（◀▶）で表示時間を選ぶ



3 OKボタンを押す
撮影できる状態になります。



クイックビューの設定は、電源をオフにしても保持されます。



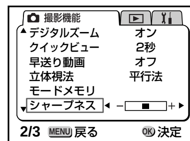
P ピクチャーモード USER

シャープネスを設定する

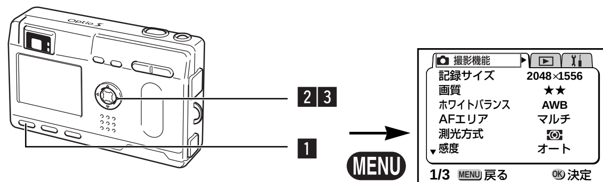
画像の輪郭をハードまたはソフトにします。

1 「撮影機能」メニューの「シャープネス」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）「ソフト」「ややソフト」「標準」「ややハード」「ハード」を切り替える
−側がソフト、＋側がハードになります。



3 OKボタンを押す
撮影できる状態になります。



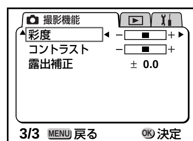
P ピクチャーモード 3D USER

彩度を設定する

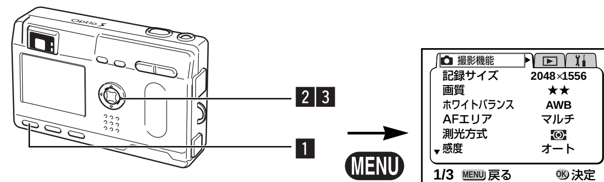
色の鮮やかさを設定します。

1 「撮影機能」メニューの「彩度」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で「低」「やや低」「標準」「やや高」「高」を切り替える
－側が彩度が低く、＋側が彩度が高くなります。



3 OKボタンを押す
撮影できる状態になります。



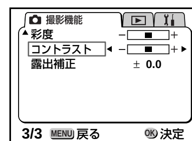
P ピクチャーモード 3D USER

コントラストを設定する

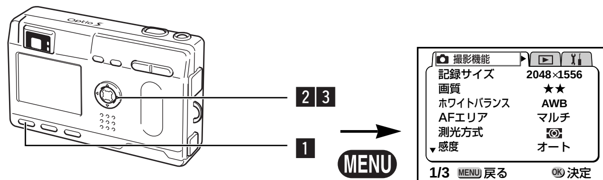
画像の明暗差を設定します。

1 「撮影機能」メニューの「コントラスト」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で「低」「やや低」「標準」「やや高」「高」を切り替える
－側がコントラストが低く、＋側がコントラストが高くなります。



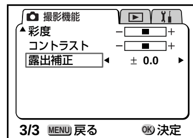
3 OKボタンを押す
撮影できる状態になります。



P ピクチャーモード 3D USER

露出を補正する

意図的に露出をオーバー（明るく）やアンダー（暗く）にして撮影します。



1 「撮影機能」メニューの「露出補正」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で露出を選ぶ
明るくする場合は＋側を、暗くする場合は－側を設定します。
露出補正の値は、－2.0EV～+2.0EVの範囲を1/3EV単位で選択できます。

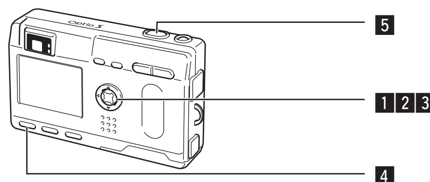
3 OKボタンを押す
撮影できる状態になります。

露出補正値を保存する ☞ p.72

メモ 十字キー（◀▶）には、Fn機能の初期設定で露出補正が設定されています。（☞ p.118）

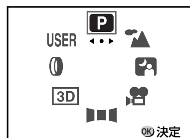
注意 露出補正中は、測光方式が中央重点、あるいはスポットになります。

撮影する



機能を設定して撮影する（標準モード）

標準モード（P）では、すべての機能を設定して撮影できます。



1 撮影モードで十字キー（▼）を押す
バーチャルモードダイヤルが表示されます。

2 十字キー（◀▶）で、標準モード（P）を選ぶ

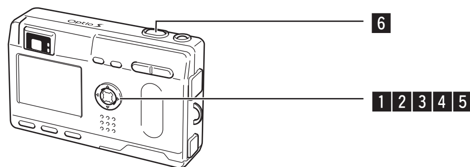
3 OKボタンを押す

4 使用する機能を設定する
機能の設定のしかたは、**「撮影するための機能を設定する」**（p.34～p.50）をご覧ください。

5 シャッターボタンを押す
撮影されます。

静止画を撮影する ☞ p.20

撮影



シーンにあわせた撮影をする（ピクチャーモード）

撮りたいシーンにあわせた設定で撮影します。

●ピクチャーモードについて

ピクチャーモードには、以下のように7つのモードがあります。

	風景（初期値）	風景写真をきれいに仕上げます。
	花	花の写真をきれいに仕上げます。
	ポートレート	人物をきれいに仕上げます。
	セルフポートレート	自分撮りやツーショット写真をきれいに仕上げます。
	サーフ&スノー	砂浜や雪山などの背景の明るい場所での写真をきれいに仕上げます。
	紅葉	紅葉の写真をきれいに仕上げます。
	夕景	夕焼けや朝焼けの写真を美しく描写します。

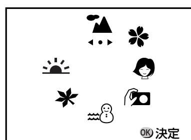
1 **撮影モードで十字キー（▼）を押す**
バーチャルモードダイヤルが表示されます。

2 **十字キー（◀▶）でピクチャーモード（ ）ダイヤルを選ぶ**
ピクチャーモードダイヤルが表示されます。



3 **十字キー（▼）を押して希望のモードを選ぶ**

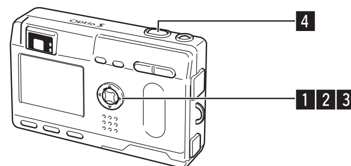
4 **十字キー（◀▶）で設定したいピクチャーモードの絵記号をダイヤルの上に移動させる**



5 **OKボタンを押す**
ピクチャーモードが選択されます。

6 **シャッターボタンを押す**
撮影されます。


ピクチャーモードでは、露出補正、彩度、コントラスト、シャープネス、ホワイトバランスが自動的に各モードの初期値に設定されます（設定値は変更することができます）。

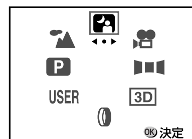


暗いシーンを撮影する（夜景モード）

夜景など暗いシーンを撮影するのに適切な設定にセットされます。

1 **撮影モードで十字キー（▼）を押す**
バーチャルモードダイヤルが表示されます。

2 **十字キー（◀▶）で、夜景モード（ ）をダイヤルの上に表示させる**

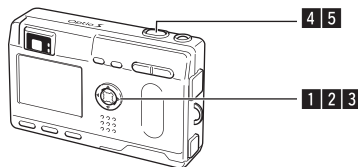


3 **OKボタンを押す**

4 **シャッターボタンを押す**
撮影されます。

シャッターボタンの押しかた ☞ p.21
静止画を再生する ☞ p.22


暗いシーンでの撮影ではシャッター速度が遅くなりますので、手ぶれしないよう、カメラを三脚等に固定して撮影してください。

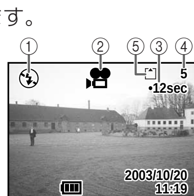


動画を撮影する（動画モード）

動画を撮影します。一度に撮影できる時間（1セット）は、最長約30秒間です。音声も同時に記録されます。

1 撮影モードで十字キー（▼）を押す
バーチャルモードダイヤルが表示されます。

2 十字キー（◀▶）で、動画モード（ ）をダイヤルの上に表示させる



3 OKボタンを押す
① 発光禁止マーク　② 動画モードアイコン
③ 次のセットでの撮影可能時間
④ 残りセット数　⑤ カード／内蔵メモリ

4 シャッターボタンを押す
撮影が開始されます。ズームボタンで画像の大きさを切り替えることができます。

被写体が大きく写ります。
被写体が小さく写ります。

5 シャッターボタンを押す
撮影が終了します。

撮影

シャッターボタンを押し続けて撮影する

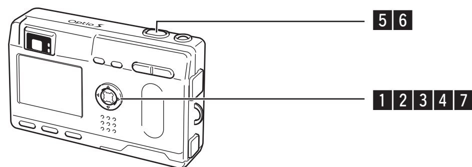
シャッターボタンを1秒以上押し続けると、シャッターボタンを押し続けている時間だけ撮影されます。シャッターボタンから指を離すと撮影が終了します。

動画を再生する ☞ p.78

注意
- 動画モードでは、ストロボは発光しません。
- 動画モードでは、連続撮影はできません。
- 動画モードでは、液晶モニタをオフにできません。
- 早送り動画がオンのときは、音声の記録はできません。
- 動画モードで設定できるフォーカスモードは、「オートフォーカスモード・遠景モード・マニュアルフォーカスモード」のみです。また、オートフォーカスモードでは、ピントが固定になります。
- 動画モードで画像の大きさを変えられるのはデジタルズームのみです。デジタルズーム撮影時は、液晶モニタを使用してください。

早送り動画 ☞ p.71

撮影



パノラマ撮影をする（パノラマアシストモード）

何枚かの画像をつなぎ合わせて、1枚の写真を撮影します。パノラマ合成には付属のソフトウエアとWindowsパソコンを使用します。

1 撮影モードで十字キー（▼）を押す
バーチャルモードダイヤルが表示されます。

2 十字キー（◀▶）で、パノラマアシスト（▮▮▮）をダイヤルの上に表示させる

3 十字キー（▼）を押す

4 十字キーでつなげる方向を選ぶ



◀　画像を左につなぎます。
▶　画像を右につなぎます。
▲　画像を上につなぎます。
▼　画像を下につなぎます。
ここでは▶を選んだ場合について説明します。

5 1枚目の画像を撮影する



シャッターボタンを押すと1枚目の画像が撮影され、1枚目の画像の右端が液晶モニタの左端に透過表示されます。

6 カメラを右に移動し2枚目の画像を撮影する



3枚目以降の画像も同様にして撮影します。

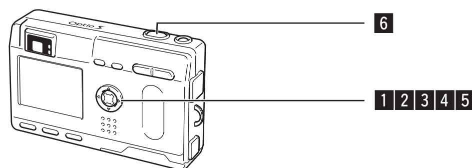
7 OKボタンを押す
手順4の画面にもどります。



パノラマ撮影を中止するには、パノラマアシストモード以外のモードに切り替えてください。

注意
- パノラマ合成はカメラ本体ではできません。付属のソフトウェアを使用します。
- パノラマアシストモードでは、連続撮影はできません。
- パノラマ合成にはWindowsパソコンが必要です（付属のソフトはMacintoshに対応していません）。

撮影



フィルタを設定して撮影する（デジタルフィルタモード）

デジタルフィルタには、赤、青、緑などさまざまな色をした色フィルタと、スリム効果を出すスリムフィルタがあります。デジタルフィルタモードでは、これらのフィルタを使用して撮影をすることができます。

●色フィルタについて

色フィルタには、白黒、セピア、赤、桃色、紫、青、緑、黄色の8種類のフィルタがあります。デジタルフィルタモードで色フィルタを選択すると、液晶モニタにはそれぞれの色フィルタの色味がかった画像が表示され、その色で画像が表示されます。

●スリムフィルタについて

スリム度を縦方向と横方向にそれぞれ8段階で設定できます。

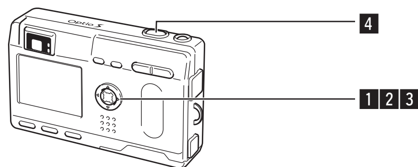
1. **撮影モードで十字キー（▼）を押す**
   バーチャルモードダイヤルが表示されます。
2. **十字キー（◀▶）で、デジタルフィルタモード（◐）を選ぶ**
3. **十字キー（▼）を押す**
   フィルターを選ぶ画面が表示されます。
4. **十字キー（▲▼）で使用するフィルタを選ぶ**
5. **OKボタンを押す**
6. **シャッターボタンを押す**

スリムフィルタを設定する

デジタルフィルタモードでスリムフィルタを選ぶと、スリム度を設定する画面が表示されます。

1. **十字キー（◀▶）で、スリム度を設定する**
   ◀ スリム度が小さくなります。
   ▶ スリム度が大きくなります。
2. **OKボタンを押す**
   デジタルフィルタモードに戻ります。

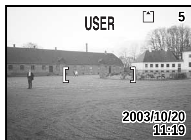
注意
・スリムフィルター使用時には、デジタルズームは使用できません。



機能を自由に設定して撮影する（ユーザー設定モード）

ユーザー設定モードでは、あらかじめユーザーモードに登録しておいた機能や設定で撮影をすることができます。

1 撮影モードで十字キー（▼）を押す
バーチャルモードダイヤルが表示されます。



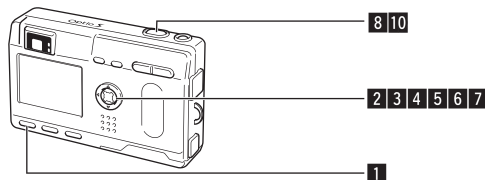
2 十字キー（◀▶）でユーザー設定モード（USER）を選ぶ

3 OKボタンを押す

4 シャッターボタンを押す
撮影されます。

ユーザーモードに機能を登録する ☞ p.73

撮影



3D写真を撮影する（3D撮影モード）

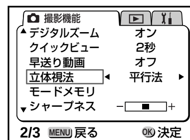
平行法/交差法（p.63）で見る3D写真を液晶モニタを使って撮影します。プリントした3D写真を、付属の3Dイメージビュワーで見ると立体的に見えます。

立体視法を選ぶ

初期設定では「平行法」が選択されています。「交差法」に切り換える必要がなければ、手順5に進んでください。

1 MENUボタンを押す
「撮影機能」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「立体視法」を選ぶ



3 十字キー（◀▶）で「交差法」を選ぶ
3Dイメージビュワーで見るときは、平行法を選択してください。
裸眼で楽しむこともできます。

4 OKボタンを押す
3D撮影を行う画面に戻ります。

撮影する

5 撮影モードで十字キー（▼）を押す
バーチャルモードが表示されます。

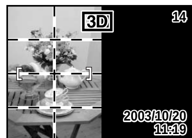
6 十字キー（◀ ▶）で、3D撮影モード（3D）を選ぶ

撮影

7 OKボタンを押す

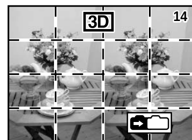
液晶モニタの左側に1枚目の画像を撮影するための画面が表示されます。

8 1枚目の画像を撮影する



被写体が左側画面の中央に入るようにしてシャッターボタンを押します。液晶モニタの左側に撮った画像が表示され、右側に2枚目の画像を撮影するための画面が表示されます。

9 撮影姿勢を変えずに右に移動する



10 2枚目の画像を撮影する

被写体が画面右側の中央に入るようにしてシャッターボタンを押します。



- 3D撮影を中止する場合は、3D撮影モード以外のモードに切り替えてください。
- 1つの被写体を2回撮影するので、動くものを撮影しても立体画像は撮影できません。人物を撮影するときは、動かないように声をかけ、すばやく2枚目の撮影を行いましょう。三脚や適当な台を利用すれば、容易に右に水平移動できます。
- カメラの移動量は被写体までの距離の1/40程度が目安です。たとえば、被写体までの距離が3mあれば、移動量は3m÷40=7.5cmとなります。立体感の見え方には個人差がありますので、あまり難しく考えず、下記の表を参考にしていろいろ移動距離を変えて撮影してみましょう。

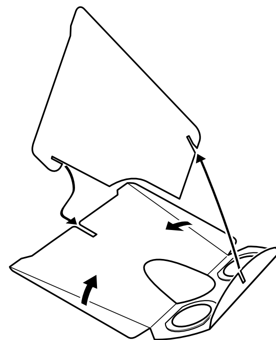
被写体までの距離	0.1m	0.3m	0.5m	1m	3m	5m
カメラの移動距離	0.5cm	1cm	1.5cm	2.5cm	7.5cm	13cm

●平行法と交差法による3D写真

人間の目は左右に約6～7cm離れているため、左右それぞれの目には微妙に角度のズレた景色が写っています。この左右の見え方を脳が処理することにより、立体的に見え、この原理を応用した撮影方法および写真の観察方法が3D写真です。
3D写真を観察する方法としては、左右の視線をほぼ平行にして（遠くを見るように）見る「平行法」と、左右の視線を交差させて見る「交差法」があります。なお、ビュワーを使わずに3D写真を観察するためには多少の練習が必要になる場合があります。

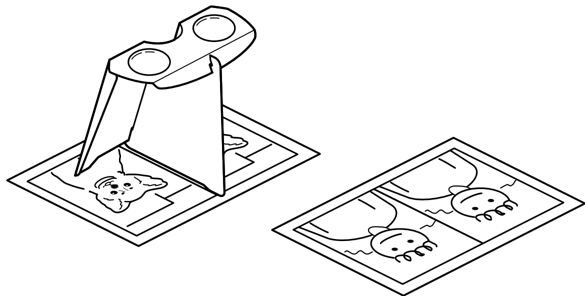
●3Dイメージビュワーの組み立て方

付属の3Dイメージビュワーは、次のように組み立ててお使いください。



●3Dイメージビュワーを使った3D写真の観察方法

横幅が11cmから12cm程度になるようにプリントし、2枚の画像の中心に3Dイメージビュワーの仕切りを合わせて3D写真を観察します。





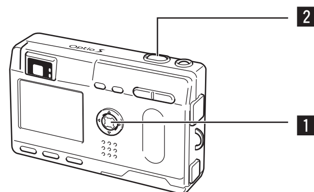
人間の左右の目の間隔には個人差があるため、同じ大きさのプリントを見ても立体視が困難な場合があります。特にプリントサイズが大きすぎたり、小さすぎたりすると立体視は非常に困難になります。何度かプリントを試してみて、立体視しやすい大きさを見つけてください。



- 3Dイメージビュワーで絶対に太陽はのぞかないでください。
- 3Dイメージビュワーを直接日光の当たる場所に放置しないでください。火災の原因となる恐れがあります。

●3D写真の参考例





P ピクチャーモード USER

連続して撮影する（連続撮影）

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

1 撮影モードで十字キー（▲）を押して液晶モニタに を表示させる

2 シャッターボタンを押す
シャッターボタンを押している間、連続して撮影されます。
シャッターボタンを離すと、撮影が終了します。



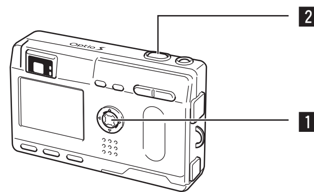
静止画を再生する ☞ p.22



- SDメモリーカードの容量がいっぱいになるまで、連続撮影できます。
- 連続撮影の間隔は、記録サイズや画質の設定によって異なります。



- 連続撮影では、ストロボは発光しません。
- 3D撮影モード、動画モード、パノラマアシストモードでは、連続撮影はできません。



P ピクチャーモード 3D USER

セルフタイマーを使って撮影する

シャッターボタンを押してから、10秒後に撮影します。

1 撮影モードで十字キー（▲）を押して、液晶モニタに を表示させる

2 シャッターボタンを押す
セルフタイマーが起動し、セルフタイマーランプが点灯します。セルフタイマーランプが点滅をはじめてから約3秒後に撮影されます。

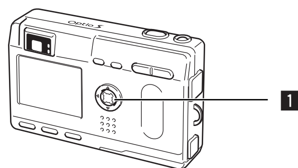




- 液晶モニタをオンにすると、カウントダウン表示されます。
- カウントダウン表示中に十字キーやMENUボタンなどのボタンを押すと、セルフタイマーは解除されます。
- 3Dモードでは、1回目の撮影、2回目の撮影それぞれカウントダウンを行います。

静止画を再生する ☞ p.22
セルフポートレートを撮影する ☞ p.52

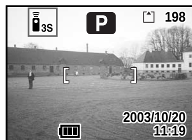
撮影



P ピクチャーモード USER

リモコンを使って撮影する（別売）

リモートコントロールF（別売）を使って撮影します。



1 撮影モードで十字キー（▲）を押して、液晶モニタに 3S を表示させる

セルフタイマーランプが点滅し、リモコンで撮影できる状態になります。

2 リモコンのシャッターボタンを押す

セルフタイマーランプが早い点滅に変わり、約3秒後に撮影されます。

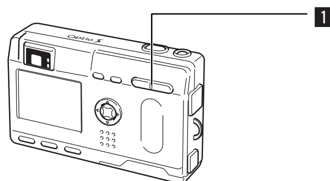
再生する ☞ p.77



- 本体のボタンは、通常と同じように操作できます。
- リモコンの届く距離は、カメラ正面から約4m程度です。
- リモコンのシャッターボタンを押してすぐに画像撮影されるようにするには、手順1で十字キーを押して、液晶モニタに を表示させます。

●リモコン用電池の寿命

リモコンからカメラへ約30,000回信号を送信することができます。電池の交換は最寄りのペンタックスお客様窓口にご相談ください。[交換は有料になります]



P ピクチャーモード USER

ズームを使って撮影する

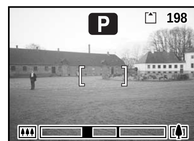
ズームを使って撮影する範囲の望遠/広角撮影ができます。

1 撮影モードでズームボタンを押す

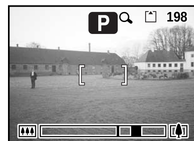


望遠： 被写体が大きく写ります。
広角： 被写体が小さく写ります。

デジタルズーム機能がオフのときは、3倍までの光学ズーム撮影となります。デジタルズーム機能がオンのときは、被写体をさらに最大12倍相当まで拡大して撮影できます。



ズームバー　デジタルズーム領域



デジタルズーム時

設定したズーム位置を保存する ☞ p.72

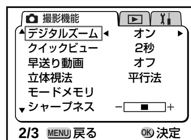


動画モードでは、光学ズームが使用できません。

デジタルズーム機能をオンにする

1 撮影モードでMENUボタンを押す
「撮影機能」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「デジタルズーム」を選ぶ



3 十字キー（◀▶）で「オン」を選ぶ

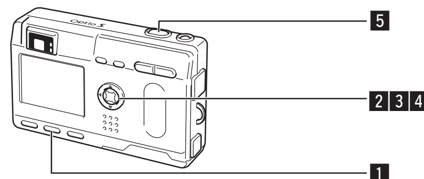
4 OKボタンを押す
撮影できる状態になります。

注意
・液晶モニタをオフにすると、デジタルズーム機能がオンの状態でも、デジタルズームはオフになります。
・デジタルフィルタでスリムフィルタを選択している場合、デジタルズームは使用できません。



・デジタルズームを使用する場合は、液晶モニタで構図を合わせてください。

デジタルズーム機能のオン/オフを保存する ☞ p.72



早送り動画を撮影する

早送り動画を設定すると、フレームレート（1秒間に撮る画面回数）を遅らせて動画を撮影します。撮影した動画を再生すると、被写体が早送りされているように見えます。植物の開花の様子などを撮影するときに便利な機能です。

1 動画撮影モードでMENUボタンを押す
「撮影機能」メニューが表示されます。

2 十字キー（▼）を押して「早送り動画」を選ぶ



3 十字キー（◀▶）で「オフ（×1）」「×2」「×5」「×10」「×20」「×50」「×100」を切り替える

4 OKボタンを押す

5 シャッターボタンを押す
早送り動画撮影が始まります。



・オフ（x1）は通常の動画設定です（12フレーム毎秒）。x2、x5と選ぶごとに1秒間に撮影される回数は1/2、1/5と減少していきます。
・動画再生は常に12フレーム毎秒ですので、x2で撮影したものは2倍に、x5で撮影したものは5倍で早送り再生されるように見えます。
・音声は録音されません。

動画を撮影する ☞ p.54

設定を保存する

メニュー項目を保存する（モードメモリ）

電源をオフにしたときに、撮影のために設定した値をメモリ（保存）するかどうかを選びます。「☑」を選ぶと、電源オフ直前の設定状態をメモリします。「□」を選ぶと、電源をオフにしたときに初期値に戻ります。

項目	内容	初期値
ストロボ	ボタンで設定したストロボモードを保存します。	☑
ホワイトバランス	「撮影機能」メニューの「ホワイトバランス」での設定を保存します。	□
露出補正	設定した露出補正値を保存します。	□
デジタルズーム	「撮影機能」メニューの「デジタルズーム」での設定を保存します。	☑
測光方式	「撮影機能」メニューの「測光方式」で設定した測光方式を保存します。	□
感度	「撮影機能」メニューの「感度」で設定した値を保存します。	□
フォーカス方式	設定したフォーカスモードを保存します。	□
ズーム位置	設定したズーム位置を保存します	□
MF位置	マニュアルフォーカスの位置を保存します	□
DISPLAY	液晶モニタの表示モードを保存します。	□
ファイルNo.	ファイル番号を保存します。SDメモリーカードを入れ替えた場合でも連番でファイル名を作成します。	☑



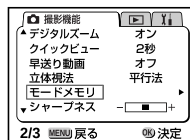
- 「モードメモリ」に含まれないメニュー項目は、電源をオフにした後も、各機能のメニュー画面で設定された値が保持されます。
- デジタルズーム領域で設定したズーム位置は、「モードメモリ」の「ズーム位置」をオンにしても保存されません。
- 「モードメモリ」は、ユーザーモードとそれ以外の撮影モードで別々に設定することができます。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

2 十字キー（▲▼）を押して「モードメモリ」を選ぶ

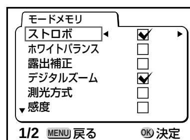
3 十字キー（▶）を押す

「モードメモリ」メニューが表示されます。



4 十字キー（▲▼）で「項目」を選ぶ

5 十字キー（◀▶）で「☑」か「□」を切り替える



6 OKボタンを2回押す

撮影できる状態になります。

ユーザーモードに機能を登録する

撮影モードをUSERに合わせて撮影のための機能を設定すると、設定した撮影機能がユーザーモードに登録されます。

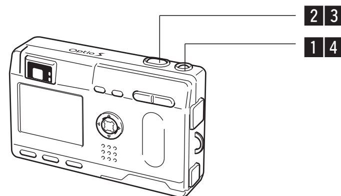
●ユーザーモードに登録できる機能

ユーザーモードに登録できる項目	初期値	参照
ストロボモード	オート	p. 37
ドライブモード	標準	p. 66~p. 68
フォーカスモード	通常AF	p. 35
MF位置	無限遠	p. 36
記録サイズ	2048×1536	p. 39
画質	★★	p. 40
ホワイトバランス	AWB（オート）	p. 41
AFエリア	マルチ	p. 43

ユーザーモードに登録できる項目	初期値	参照
測光方式	（分割）	p. 44
感度	オート	p. 45
デジタルズーム	オン	p. 69
クイックビュー	1秒	p. 46
モードメモリ	すべてオン	p. 72
シャープネス	標準	p. 47
彩度	標準	p. 48
コントラスト	標準	p. 49
Fn設定	露出補正	p. 118

音声を録音する（ボイスレコーダーモード）

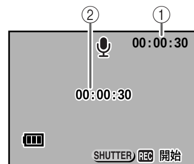
音声を記録します。SDメモリーカードの空き容量に応じて、録音できる時間が表示されます。



1 電源スイッチを2秒以上押す

液晶モニタに録音可能な時間が表示されます。

① 残り録音可能時間② 録音時間



2 シャッターボタンを押す

録音が開始されます。録音中は、セルフタイマーランプとストロボランプが点灯します。

3 シャッターボタンを押す

録音が終了します。残り録音可能時間が表示されます。

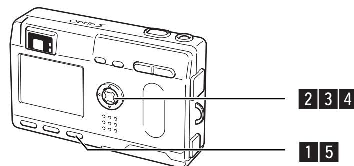
4 電源を切ってボイスレコーダーモードを終了する



- 電源スイッチを押したとき、一度レンズが前に出ますが、すぐに収納されます。その後、ボイスレコーダーモードになります。
- 音声はモノラルのWAVEファイルで記録されます。
- マイクはカメラ前面に付いています。最適な状況で録音できるように、カメラの向きを調整してください。
- 録音中にMENUボタンを押すと、インデックスを付けることができます。
- 録音開始時、シャッターボタンを１秒以上押し続けると押している間だけ録音され、シャッターボタンを離すと録音を停止します。

音声を再生する

ボイスレコーダーモードで録音した音声を再生します。

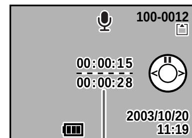


1 ボイスレコーダーモードに入り、再生ボタンを押す

2 十字キー（◀▶）で再生したい音声を選ぶ

3 十字キー（▲）を押す

再生が開始します。



ファイルの録音時間

●再生中にできる操作

十字キー（▲）	一時停止する 再開するときはもう一度押す
インデックスがない場合	
十字キー（◀）	約5秒前に戻る
十字キー（▶）	約5秒先に送る
インデックスがある場合	
十字キー（◀）	前のデータから再生
十字キー（▶）	次のデータから再生
ズーム/▦/Qボタン（♠）	音量を大きくする
ズーム/▦/Qボタン（♠♠♠）	音量を小さくする

4 十字キー（▼）を押す

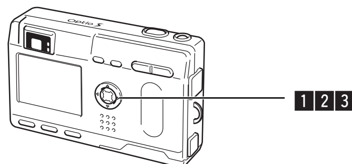
再生が停止します。

5 再生ボタンを押す

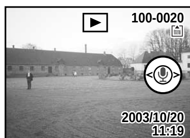
録音モードに切り替わります。

ボイスメモを付ける

撮影した画像にボイスメモを付けることができます。



1 再生モードに入り、十字キー（◀▶）でボイスメモを付けたい画像を選ぶ



撮影した画像を表示中は、液晶モニタにボイスメモを開始するための画面が表示されます。

2 OKボタンを押す

ボイスメモが開始します。ボイスメモは最長30秒録音することができます。

3 OKボタンを押す

ボイスメモが終了します。

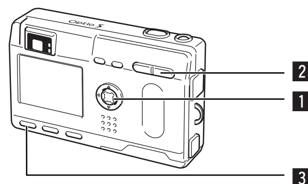


・すでにボイスメモが録音されている画像にボイスメモを上書きすることはできません。
・ボイスメモを付けると、画面に［♪］が表示されます。

注意

・プロテクト（O⊸）されている画像にボイスメモを付けることはできません。

画像を再生する



静止画を再生する

操作方法は「画像を再生する」（p.22）「前後の見たい画像を再生する」（p.23）をご覧ください。

拡大して再生する

再生する画像を最大4倍まで拡大表示できます。拡大中は液晶モニタにガイドが表示されます（拡大倍率は記録サイズにより異なります）。

1 再生モードに入り、十字キー（◀▶）で拡大表示したい画像を選ぶ

2 ズーム/▦/🔍ボタンの♠/🔍を押す



画面が大きく（1倍～4倍）表示されます。押し続けると、連続的に大きさが変わります。

●拡大表示中にできる操作

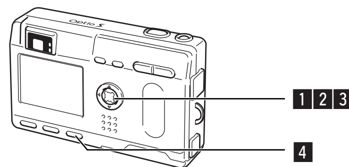
十字キー（▲▼◀▶）	拡大位置を移動する
ズーム/▦/🔍ボタン（♠）	画像を大きくする
ズーム/▦/🔍ボタン（♠♠♠）	画像を小さくする
DISPLAYボタン	ガイドをオン/オフする

3 MENUボタンを押す

拡大再生が終了します。

注意

・動画は拡大表示できません。
・再生専用モードで起動している場合、再生ボタンを押しても撮影モードにはなりません。電源を入れ直してください。



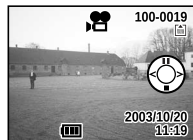
動画を再生する

動画を再生します。再生中は液晶モニタに操作ガイドが表示されます。音声も同時に再生されます。

1 再生モードに入り、十字キー（◀▶）で再生したい動画を選ぶ

2 十字キー（▲）を押す

再生が開始します。



●再生中にできる操作

十字キー（◀）	逆方向に再生する
十字キー（▶）	順方向に再生する
十字キー（▲）	一時停止する
DISPLAYボタン	DISPLAYモードを切り替える

●一時停止中にできる操作

十字キー（◀）	コマ戻しする
十字キー（▶）	コマ送りする
十字キー（▲）	一時停止を解除する（再生する）
DISPLAYボタン	DISPLAYモードを切り替える

3 十字キー（▼）を押す

再生が停止します。

4 再生ボタンを押す

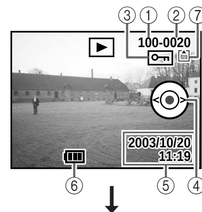
撮影モードに切り替わります。

撮影時の情報を表示する（DISPLAYモード）

撮影時の情報を液晶モニタにオーバーレイ表示できます。DISPLAYボタンで表示される情報を切り替えます。

DISPLAYオン

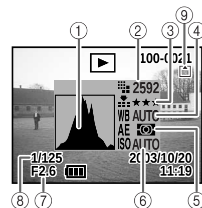
撮影時の情報を表示します。
①フォルダ名　②ファイル名
③プロテクトマーク
④十字キー操作ガイド
⑤撮影日時　⑥バッテリーマーク
⑦カード／内蔵メモリ



↓

ヒストグラム表示

画像の明度分布を表示します。横軸は明るさ（左端が最も暗く、右端が最も明るい）、縦軸はピクセル数を表わします。
①ヒストグラム　②記録サイズ
③画質　④ホワイトバランス
⑤測光方式　⑥感度
⑦絞り値　⑧シャッター速度
⑨カード／内蔵メモリ



↓

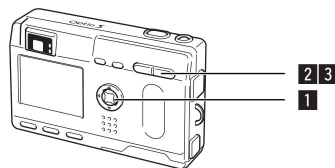
DISPLAYオフ

撮影時の情報を表示しません。



↓

DISPLAYオン



9画像ずつ表示する

撮った画像を一つの画面に9枚まで同時に表示できます。

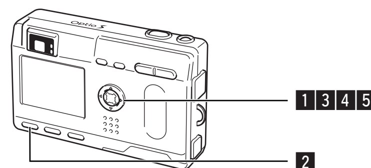
1 再生モードに入り、十字キー（◀▶）で画像を選ぶ

2 ズーム/⊞/🔍ボタンの♣♣♣/⊞を押す


選択画像

画像が小さなコマで一度に9コマまで表示されます。
十字キー（▲▼◀▶）で画像が選べます。10枚以上の画像が記録されている場合、左列の画像を選択しているときに十字キー（◀）を押すと前の9画像が表示され、右列の画像を選択しているときに十字キー（▶）を押すと次の9画像が表示されます。

3 ズーム/⊞/🔍ボタンの♣♣♣/⊞を押す
選択した画像が1枚表示されます。
※動画は、1コマ目の画像が表示されます。

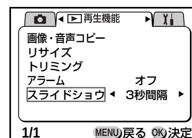


スライドショウで連続再生する

SDメモリーカード/内蔵メモリに保存された全画像を連続して再生します。

1 再生モードに入り、十字キー（◀▶）でスライドショウを開始する画像を選ぶ

2 MENUボタンを押す
「▶再生機能」メニューが表示されます。



3 十字キー（▼）で「スライドショウ」を選ぶ

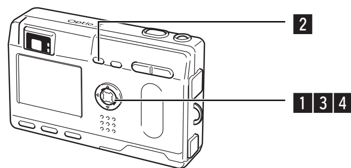
4 十字キー（◀▶）で再生時間を切り替える
3秒間隔、5秒間隔、10秒間隔、15秒間隔、20秒間隔、25秒間隔、30秒間隔から選択できます。

5 OKボタンを押す
設定した時間で再生が開始します。



- 連続再生中にOKボタンを押すと、スライドショウが停止します。
- スライドショウは、ボタンを押して停止させるまで繰り返します。
- 動画、ボイスメモ付き画像は、設定した再生間隔にかかわらずすべて再生されてから、次の再生に移ります。
- ボイスレコーダーモードで録音した音声は、再生されません。

消去する



1画像・音声ずつ消去する

1 再生モードに入り、十字キー（◀▶）で消去したい画像・音声を選ぶ

2 🗑ボタンを押す
消去画面が表示されます。

3 十字キー（▲）で「消去」を選ぶ

4 OKボタンを押す





- 画像の消去は、クイックビュー（p.23）で画像表示中に行なうこともできます。
- プロテクト（O━┳）されている画像は、消去できません。
- 「詳細設定」メニューの「クィック消去」をオンに設定すると手順3の操作を省略することができます。

ボイスメモを消去する

ボイスメモ付きの画像の場合は、画像は消去せずにボイスメモのみを消去することができます。

1 再生モードに入り、十字キー（◀▶）で消去したいボイスメモ付きの画像を選ぶ

2 🗑ボタンを押す
消去画面が表示されます。

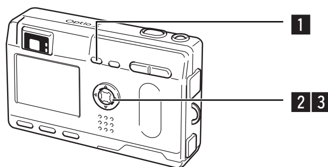
3 十字キー（▲）で「音声消去」を選ぶ

4 OKボタンを押す





- 画像とボイスメモの両方を消去するには、手順3で「消去」を選びます。

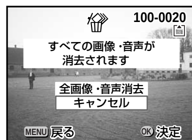


まとめて消去する

保存されている全画像・音声を消去します。



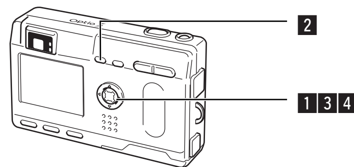
・消去した画像は復元ができません。
・プロテクトされている画像は消去できません。



1 再生モードに入り、🗑ボタンを2回押す
全画像・音声消去画面が表示されます。

2 十字キー（▲）で「全画像・音声消去」を選ぶ

3 OKボタンを押す



消去できないようにする（プロテクト）

画像・音声を誤って消去しないようにプロテクト（保護）することができます。

1 再生モードに入り、十字キー（◀▶）でプロテクトする画像・音声を選ぶ



2 O┳ボタンを押す
プロテクト画面が表示されます。

3 十字キー（▲）で「プロテクト」を選ぶ

4 OKボタンを押す



・プロテクトを解除するには、3で「解除」を選びます。
・プロテクトされた画像・音声には、再生時に O┳ が表示されます。

全画像・音声をプロテクトするには

全画像・音声をプロテクトすることができます。

1 再生モードに入る

2 O┳ボタンを2回押す
全画像・音声プロテクト画面が表示されます。

3 十字キー（▲）で「プロテクト」を選ぶ

4 OKボタンを押す

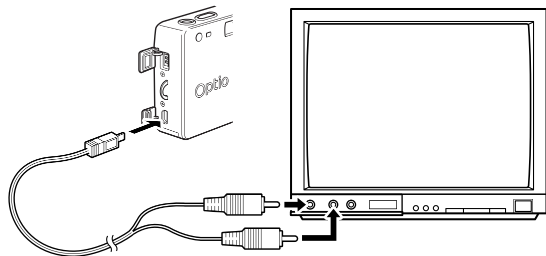


3で「解除」を選ぶと、全画像・音声のプロテクト設定が解除されます。



プロテクトされた画像・音声もSDメモリーカード／マルチメディアカードをフォーマットすると消去されます。

テレビで画像を見る



AVケーブルを使用すると、テレビなど、ビデオ入力端子を備えた機器をモニタにして撮影や再生ができます。ケーブルを接続するときは、テレビとカメラの電源を必ずオフにしてください。

1 **端子カバーを開き、AVケーブルを接続する**

2 **AVケーブルのもう一方の端子を、テレビの映像入力端子と音声入力端子に接続する**

3 **テレビとカメラの電源を入れる**

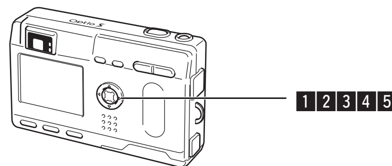
ビデオの出力方式を切り替える ☞ p.115



長時間使用するときは、ACアダプタ（別売）のご使用をおすすめします。テレビ等接続する機器の使用説明書もご覧ください。

プリントサービスの設定をする（DPOF）

SDメモリーカードに保存した画像は、DPOF（Digital Print Order Format）対応プリンタやラボプリントサービスでプリントできます。



1画像ずつ設定する

各画像ごとに、次の項目の設定をします。

- 枚数
  プリントする枚数を設定します。99枚までの設定ができます。
- 日付
  プリントする画像に日付を入れるか入れないかを設定します。

1 **再生モードに入り、十字キー（◀▶）でプリント指定する画像を選ぶ**

2 **十字キー（▲）を押す**
DPOF画面が表示されます。



3 十字キー（◀▶）でプリント枚数を設定し、十字キー（▼）を押す
選択枠が「日付」に移動します。



4 十字キー（◀▶）で日付の☑と□を設定する

☑ プリントに日付を入れます。
□ プリントに日付を入れません。

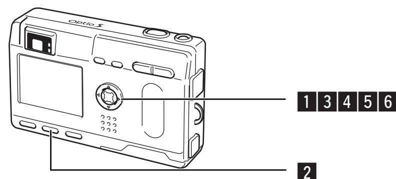
5 OKボタンを押す
設定した値でプリントできます。



- すでにDPOFが設定されている画像は、設定された枚数と日付のオン/オフが表示されます。
- DPOFを解除するには、枚数を「0」に設定して、OKボタンを押します。



- 動画や音声のみのファイルには、DPOFを設定することはできません。
- プリンタやプリント取扱い店のプリント機器によっては、DPOFの設定で日付をオンにしても、プリントに日付が写し込まれない場合があります。
- 内蔵メモリ使用時は、DPOF設定ができません。



全画像を設定する

1 再生モードで十字キー（▲）を押す

2 DISPLAYボタンを押す

3 十字キー（◀▶）でプリント枚数を設定する
99枚まで設定ができます。



4 十字キー（▼）を押す
選択枠が「日付」に移動します。

5 十字キー（◀▶）で日付の☑と□を設定する

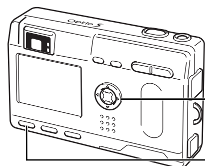
☑ プリントに日付を入れます。
□ プリントに日付を入れません。

6 OKボタンを押す
設定した値でプリントできます。



- 全画像設定を行なうと、1画像ずつの設定は解除されます。
- 全画像設定でプリント枚数の指定をすると、すべてのコマに指定した枚数が設定されます。プリントをする前に必ず、枚数の設定が正しいか確認してください。
- 動画にはDPOF設定できません。

画像を編集する



画像のサイズを変更する

選択した画像の記録サイズと画質を変更して、ファイルサイズを元のファイルサイズよりも小さくすることができます。サイズを変更した画像は、元の画像に上書き保存することも、新規の画像として保存することもできます。

1 MENUボタンを押す

2 十字キー（▶）を押す
「▶再生機能」メニューが表示されます。

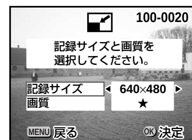
3 十字キー（▲▼）を押して「リサイズ」を選ぶ

4 十字キー（▶）を押す
リサイズ画面が表示されます。



5 十字キー（◀▶）でリサイズする画像を選ぶ

6 OKボタンを押す



7 十字キー（◀▶）で「記録サイズ」を選ぶ

8 十字キー（▼）を押す
選択枠が「画質」に移動します。

9 十字キー（◀▶）で「画質」を選ぶ

10 OKボタンを押す

11 十字キー（▲▼）で「上書き保存」「新規保存」を選ぶ

12 OKボタンを押す
画像がリサイズされます。



・動画のサイズを変更することはできません。
・元の画像の記録サイズよりも大きな記録サイズは選択できません。

画像をトリミングする

画像の一部分をトリミングして、別の画像として保存します。

1 MENUボタンを押す

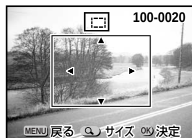
2 十字キー（▶）を押す
「再生機能」メニューが表示されます。

3 十字キー（▲▼）を押して「トリミング」を選ぶ

4 十字キー（▶）を押す
トリミングできる画面が表示されます。

5 十字キー（◀▶）でトリミングする画像を選ぶ

6 OKボタンを押す
トリミング画面が表示されます。



7 トリミングする

●トリミング画面でできる操作

ズーム/▦/🔍ボタン	画像のサイズを変える
十字キー（▲▼◀▶）	トリミング位置を上下左右に移動する
MENUボタン	トリミングする画像を選択する画面に戻る

8 OKボタンを押す
トリミングされた画像が別の画像として保存されます。



- 動画をトリミングすることはできません。
- 元の画像と同じ画像サイズと画質で保存されます。

画像・音声をコピーする

内蔵メモリーとSDメモリーカード間でファイルをコピーします。あらかじめカードを入れておかないと、この機能は選択できません。
内蔵メモリーからカードにコピーする場合は、全てのファイルが一括してコピーされます。カードから内蔵メモリーにコピーする場合は、1ファイルごとに確認しながらコピーします。

1 MENUボタンを押す

2 十字キー（▶）を押す
「▶再生機能メニュー」が表示されます。

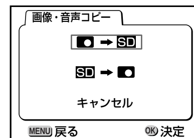
3 十字キー（▼）を押して「画像・音声コピー」を選ぶ

4 十字キー（▶）を押す
コピー画面が表示されます。ここでコピー方法を選択します。

内蔵メモリーからSDメモリーカードにコピーする場合

5 コピー方法を選ぶ

■ → SD を選びOKボタンを押す
全てのファイルがSDメモリーカードにコピーされます。



SDメモリーカードから内蔵メモリーにコピーする場合

5 コピー方法を選ぶ

SD → ■ を選びOKボタンを押す

6 十字キー（◀▶）でコピーするファイルを選ぶ



7 OKボタンを押す
選んだファイルが内蔵メモリーにコピーされます。



- 音声付の画像は、画像と同時に音声ファイルもコピーされます。
- SDメモリーカードから内蔵メモリーにコピーする場合、コピーするファイルは新しいファイル名に変更されます。
- SDメモリーカードの挿入と取り出しは、必ず電源をオフにしてから行ってください。

Windowsパソコンで画像を見る

付属のUSBケーブル（I-USB7）やカードリーダーなどで画像をパソコンに転送し、画像閲覧用ソフトウェアを用いることで、カメラで撮影した画像をパソコンで編集・プリントできます。ここでは、付属のソフトウェア（S-SW8）を使用して画像を見る方法を説明します。

添付ソフトウェアのご紹介

付属のCD-ROM（S-SW8）には、次のソフトウェアが含まれます。

- USBドライバ
- 画像閲覧用ソフト（ACDSee™）
- パノラマ作成用（ACD photostitcher）

システム環境

- OS　Windows 98/98 SE/Me/2000
  Windows XP Home Edition/Professional
- CPU　Pentium以降を推奨
- メモリ64MB以上
- ハードディスクの空容量　15MB以上
- USBポートが標準で搭載されていること

動画を再生するにはDirectX 8.0以上とOS標準添付のMedia Player（Windows Me/XPではMedia Playerのみ）、またはQuickTime 3.0以上が必要です。

注意
- Windows 95/NTでは、ご使用になれません。
- カメラをパソコンに接続するときは、ACアダプタK-AC8Jのご使用をお奨めします。画像の転送中に電池が消耗すると、画像データが壊れることがあります。

ソフトウェアをインストールする

必要なソフトウェアをインストールします。

注意
Windows 2000およびWindows XPの場合は、administrator権限でログオンしてからインストールを始めてください。ログオンのしかたは、パソコン付属の使用説明書をご覧ください。

1 パソコンの電源を入れる

2 付属のCD-ROM（S-SW8）をパソコンのCD-ROMドライブにセットする

画面上に「PENTAX Software Installer」の画面が表示されます。

●「PENTAX Software Installer」の画面が表示されない場合

以下の手順で「PENTAX Software Installer」の画面を表示させます。
1）デスクトップ画面から「マイコンピュータ」をダブルクリックする
2）CD-ROMドライブ（S-SW8）のアイコンをダブルクリックする
3）「Setup.exe」のアイコンをダブルクリックする

3 「日本語」をクリックする

インストールするソフトウェアの選択画面が表示されます。



USBドライバをインストールする

4 「USB Driver」をクリックする

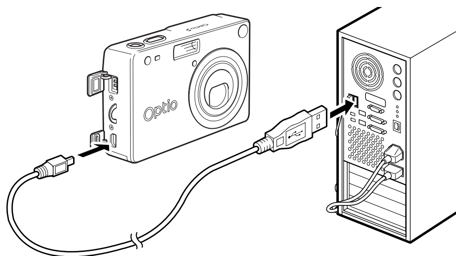
セットアップ画面が表示されます。画面の指示に従い、インストールの作業を進めてください。



5 「完了」をクリックする

セットアップ画面が閉じたら、パソコンを再起動させてください。

6 カメラの電源をオフにして、USBケーブルでパソコンとカメラを接続する



7 カメラの電源を入れる

デスクトップ画面に「新しいハードウェアが見つかりました」（Windows XP）または「新しいハードウェアの検出」（Windows 98/98 SE/Me/2000）と表示され、USBドライバがインストールされます。

8 デスクトップ画面から「マイコンピュータ」をダブルクリックする

インストールが完了すると、カメラがリムーバブルディスクとして認識されます。「マイコンピュータ」を開いて「リムーバブルディスク」が表示されていることを確認してください。



Windows XPの場合、SDカード／マルチメディアカードにボリュームラベルがついていると、「リムーバブルディスク」と表示されずにボリュームラベル名に記載されている内容が表示されます。フォーマットされていない新しいカードは、メーカー名や型番が表示される場合があります。

ACDSee™をインストールする

ACDSee™をインストールすると、撮影した画像をパソコン上で編集や管理ができます。
P.95 1 ～ 3 の手順で「PENTAX Software Installer」の画面を表示させてください。

4 「ACDSee™」をクリックする

セットアップ画面が表示されます。画面の指示に従い、登録情報を入力し、インストール作業を進めてください。
インストールが完了したら、Windowsを再起動してください。

ACD photostitcherをインストールする

ACD photostitcherをインストールすると、「パノラマアシストモード」で撮影した画像を、パソコン上でパノラマ写真として見ることができます。
P.95 1 ～ 3 の手順で「PENTAX Software Installer」の画面を表示させてください。



ACDSeeがインストールされていることを確認してから、ACD photostitcherをインストールしてください。

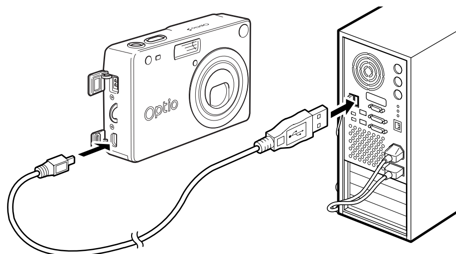
4 「ACD photostitcher」をクリックする

セットアップ画面が表示されます。画面の指示に従い、登録情報を入力し、インストール作業を進めてください。
インストールが完了したら、「PENTAX Software Installer」の画面に戻りますので、「終了」をクリックして終了してください。

ACDSee™で画像を表示・コピーする

1 パソコンの電源を入れる

2 カメラの電源をオフにして、USBケーブルでパソコンとカメラを接続する



3 カメラの電源をオンにする

ACDSeeが自動的に起動し、画像一覧が表示されます。手順の5に進んでください。

4 ACDSeeが自動的に起動しない場合は、デスクトップ画面の「ACDSeeアイコン」をダブルクリックする



カメラは「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」として認識されます。
カメラの画像は「マイコンピュータ」→「リムーバブルディスク（SDカードにボリュームラベル名が記載されている場合はその名称）」→「DCIM」→「XXXPENTX」（XXXは、3桁の数字）フォルダーの中にあります。
画像一覧が表示されます。

5 画像一覧から見たい画像を選ぶ

選んだ画像をダブルクリックすると、大きく表示されます。

6 画像をパソコンにコピーする

画像一覧からコピーしたい画像を選び、コピー先のフォルダにコピーします。コピー操作については、お使いのパソコンの使用説明書を参照してください。
Windowsに付属のエクスプローラなどでもコピーすることができます。

ACD photostitcherでパノラマ合成をする

ACDSee™とACD　photostitcherをインストールすると、パノラマアシストモードで撮影した画像をパノラマ合成することができます。
説明用の画面に表示されるフォルダや画像の名前はお使いになっているパソコンの環境によって異なります。

1 ACDSee™を起動させる

起動方法はP.98を参照してください。

2 画像一覧で、パノラマ合成したい写真を選択する

キーボードの[Ctrl]キーを押して、写真をクリックしながら複数の画像を一度に選択します。
画像を選択後、ツールバーの[ACD　photostitcher]ボタンをクリックします。
画像を選択していない場合[ACD　photostitcher]ボタンは有効になりません。



② [ACD　photostitcher]ボタンをクリック
① 画像を選択

3 写真の位置を修正する

「ACD photostitcher」が起動し、選択した画像がパノラマの状態で表示されます。
写真の上にマウスポインタを置くと、🖑マークに変わります。マウスの左ボタンを押しながら、それぞれの画像を移動させて合成位置を調整します。
位置を調整後、[STITCH]ボタンをクリックします。



4 合成方法を選ぶ

合成方法には「大平面」と「円筒面」があります。ここでは、平面のパノラマを作成するので、[大平面]ボタンをクリックします。
確認のメッセージが表示されるので[OK]をクリックします。



5 画像をトリミングする

画像を囲んでいる点線にマウスポインタを置くと、↕マークに変わります。マウスの左ボタンを押しながら点線を移動させて画像のトリミング範囲を設定します。
範囲を設定後[トリミング]ボタンをクリックします。



6 画像を保存する

トリミングを確認後、[保存]ボタンをクリックし、画像を保存します。
トリミングを取り消す場合は[トリミングのキャンセル]ボタンをクリックしてください。
画像を保存後は、必要に応じてACD photostitcherとACDSeeを終了してください。



パソコンからカメラを取り外す

パソコンからカメラを取り外す（Windows 2000/Me）

1 **デスクトップ右下のステータスバーの（ホットプラグアイコン）をダブルクリックする**
「ハードウェアの取り外し」画面が表示されます。



2 **「PENTAX USB Disk Device」が選択されていることを確認して「停止」をクリックする**
「ハードウェアデバイスの停止」画面が表示されます。



3 **「PENTAX USB Disk Device」が選択されていることを確認して「OK」をクリックする**
メッセージが表示されます。



4 **「OK」をクリックする**

5 **USBケーブルをパソコンとカメラから取り外す**



パソコンからカメラを取り外す（Windows XP）

1 **タスクバーの「ハードウェアの取り外し」アイコンをダブルクリックする**



2 **「PENTAX USB DISK Device」をクリックして「停止」をクリックする**



3 **「PENTAX USB DISK Device-ドライブ（X:）」をクリックして「OK」をクリックする**



4 **取り外し許可のメッセージが表示されたら、カメラの電源をオフにして、カメラをパソコンから取り外す**



パソコンからカメラを取り外す（Windows 98/98 SE）

Windows 98では、ホットプラグアイコンはありません。カメラを外すときは、カメラの電源を切り、そのまま、USBケーブルを外してください。

Macintoshで画像を見る

付属のUSBケーブル（I-USB7）やカードリーダーなどで画像をパソコンに転送し、画像閲覧用ソフトウェアを用いることで、カメラで撮影した画像をパソコンで編集・プリントできます。ここでは、付属のソフトウェア（S-SW8）を使用して画像を見る方法を説明します。

添付ソフトウェアのご紹介

付属のCD-ROMには、次のソフトウェアが含まれます。

・USBドライバ
・画像閲覧用ソフト（ACDSee™）

システム環境

・OS　Mac OS 8.6以上（QuickTime 4.0以降が必要）
・CPU　PowerPC 266MHz以上
・メモリ　8MB以上
・ハードディスクの空容量　6MB以上
・USBポートが標準で搭載されていること

注意
・カメラをパソコンに接続するときは、ACアダプタK-AC8Jのご使用をお奨めします。画像の転送中に電池が消耗すると、画像データが壊れることがあります。

ソフトウェアをインストールする

必要なソフトウェアをインストールします。

1 Macintoshの電源を入れる

2 付属のCD-ROM（S-SW8）を、MacintoshのCD-ROMドライブにセットする

3 CD-ROM（S-SW8）のアイコンをダブルクリックする

4 「Install ACDSee」のアイコンをダブルクリックする

5 「Master Installer」エイリアスアイコンをダブルクリックする

画面上に「PENTAX Software Installer」の画面が表示されます。

6 「日本語」をクリックする

インストールするソフトウェアの選択画面が表示されます。



USBドライバをインストールする（Mac OS 8.6のみ）

7 「USB Driver」をクリックする

USB ドライバがインストールされます。
インストールが完了したら、「再起動」をクリックして、Macintoshを再起動させてください。





Mac OS 9.0以降では、付属のUSBドライバをインストールする必要はありません。

ACDSee™をインストールする

ACDSee™をインストールすると、撮影した画像をMacintosh上で編集や管理ができます。

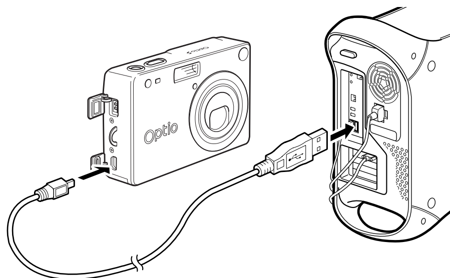
7 「ACDSee™」をクリックする

セットアップ画面が表示されます。画面の指示に従い、登録情報を入力し、インストール作業を進めてください。
インストールが完了したら、「再起動」をクリックしてMacintoshを再起動させてください。

ACDSee™で画像を表示・コピーする

1 Macintoshの電源を入れる

2 カメラの電源をオフにして、USBケーブルでMacintoshとカメラを接続する



3 カメラの電源をオンにする
カメラはデスクトップ上の「名称未設定」として認識されます。フォルダー名は変更できます。



4 ハードドライブ上の「ACDSee™」フォルダーをクリックする

5 「ACDSee™」のプログラムアイコンをダブルクリックする

6 ACDSeeでカメラのフォルダを開く
カメラの画像はデスクトップ上の「名称未設定（SDカードにボリュームラベル名が記載されている場合はその名称）」→「DCIM」→「XXXPENTX」（XXXは、3桁の数字）フォルダーの中にあります。

7 画像一覧で見たい画像を選ぶ
選んだ画像をダブルクリックすると、大きく表示されます。

8 画像をMacintoshにコピーする
Macintoshの使用説明書を参考にファイルをコピーあるいは移動させてください。編集する場合は、Macintoshへ画像をコピーしてから行ってください。



SDメモリーカードにボリュームラベルがついていると、「名称未設定」と表示されずにボリュームラベル名に記載されている内容が表示されます。フォーマットされていない新しいSDカードは、メーカー名や型番が表示される場合があります。

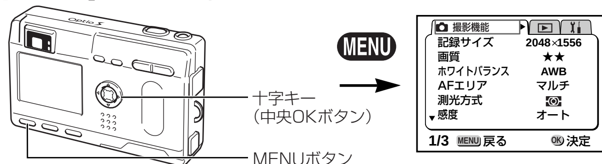
Macintoshからカメラを取り外す

1 デスクトップ上の「名称未設定（SDカードにボリュームラベル名が記載されている場合はその名称）」をごみ箱にドラッグする

2 USBケーブルをMacintoshとカメラから取り外す

カメラの設定をする

「🔧詳細設定」メニューの呼び出しかた



カード／内蔵メモリをフォーマットする

SDメモリーカード／マルチメディアカードに保存されているすべてのデータを消去します。
カードが入っていない場合は、内蔵メモリがフォーマットされます。

注意

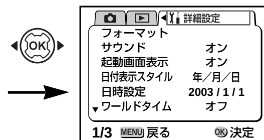
- SDメモリーカード／マルチメディアカードのフォーマット中は、カードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- フォーマットを行なうと、プロテクトされた画像も消去されます。ご注意ください。

1 「🔧詳細設定」メニューの「フォーマット」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す
フォーマット画面が表示されます。

3 十字キー（▲）で「フォーマット」を選ぶ

4 OKボタンを押す
フォーマットが開始されます。フォーマットが終わると撮影できる状態になります。



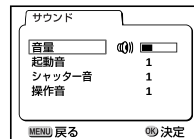
サウンドの設定を変更する

起動音、シャッター音、操作音の音量を変更することができます。起動音、シャッター音、操作音ごとに、音の種類を変更することもできます。

音量を変更する

1 「🔧詳細設定メニュー」の「サウンド」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す
サウンド画面が表示されます。



3 十字キー（▲▼）を押して「音量」を選ぶ

4 十字キー（◀▶）を押して音量を切り替える

5 OKボタンを2回押す
撮影または再生できる状態になります。

起動音、シャッター音、操作音の種類を変更する

1 「🔧詳細設定メニュー」の「サウンド」を選ぶ

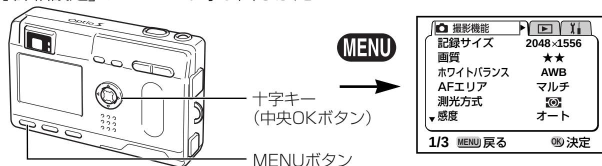
2 十字キー（▶）を押す
音量画面が表示されます。

3 十字キー（▲▼）を押して「起動音」を選び、十字キー（◀▶）で「オフ」「1」「2」「3」のいずれかを選ぶ

4 「シャッター音」「操作音」も同様に切り替える

5 OKボタンを2回押す
撮影または再生できる状態になります。

「詳細設定」メニューの呼び出しかた





起動画面を変更する

カメラで撮影した画像を、カメラの電源を入れたときに、起動画面として表示させることができます。

1. 「詳細設定」メニューで「起動画面表示」を選ぶ
2. 十字キー（▶）を押す
3. DISPLAYボタンを押す
4. 十字キー（◀▶）を押して、起動画面として表示する画像を選ぶ
5. OKボタンを押す
6. 十字キー（◀▶）で☑と□を切り替える
7. OKボタンを2回押す
   撮影または再生できる状態になります。

メモ　一度設定した起動画面は、元の画像を消去したり、SDメモリーカードをフォーマットしても消去されません。

日付の表示スタイルを変更する

カメラに表示する日付の表示形式を設定します。
「年/月/日」「月/日/年」「日/月/年」から選べます。

1. 「詳細設定」メニューの「日付表示スタイル」を選ぶ
2. 十字キー（◀▶）で日付スタイルを選ぶ
3. OKボタンを押す
   設定した日付表示で撮影または再生できる状態になります。



時刻の表示形式は「日時設定」で設定します。

「詳細設定」メニューの呼び出しかた





日付/時刻を変更する

初期設定で設定した日付と時刻を変更します。

1 「詳細設定」メニューの「日時設定」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す
日時設定画面が表示されます。

日時の設定方法は「初期設定をする」（p.16）をご覧ください。

ワールドタイムを設定する

「初期設定をする」（p.16）で設定した日時は、「ホームタイム」（通常使用する国・地域の日時）として設定されます。「ワールドタイム」を設定しておくと、海外で使用する際、液晶モニタに設定した国・地域の日時で表示できます。

1 「詳細設定」メニューの「ワールドタイム」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す
ワールドタイム設定画面が表示されます。



3 十字キー（◀▶）で☑と□を切り替える

☑ ワールドタイムで選択した国・地域の時刻表示になります。
□ ホームタイムで選択した国・地域の時刻表示になります。

4 十字キー（▼）を押す
はじめに東京がワールドタイムの対象地域として選択されます。このとき、世界地図上の東京の位置を表示し、✈には東京の記号名（TYO）と現地時刻が表示されます。

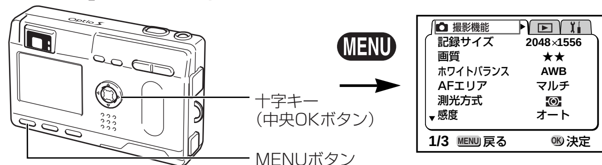
5 十字キー（◀▶）でワールドタイムの都市を選び、十字キー（▼）を押す

6 十字キー（◀▶）で「夏時間」のオン（☼）/オフ（☼）を切り替え、十字キー（▼）を押す
はじめに東京（TYO）がホームタイムの対象地域として選択されます。
十字キー（◀▶）でホームタイムの都市や、「夏時間」のオン／オフを変更できます。

7 OKボタンを2回押す
設定した都市の日時で撮影または再生できる状態になります。

メモ 指定できる都市および都市の記号名については、p.122をご覧ください。

「詳細設定」メニューの呼び出しかた





表示言語を変更する

メニューやエラーメッセージなどに表示される言語を変更します。

1 「詳細設定」メニューの「Language/言語」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で言語を選ぶ

3 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

ビデオ出力方式を選択する

テレビをモニタにして撮影や再生をするときの出力形式をNTSC方式とPAL方式から選べます。

1 「詳細設定」メニューの「ビデオ出力」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）でモニタにするテレビの出力方式に合わせて、「NTSC」「PAL」を切り替える

3 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。



日本国内では、NTSC方式です。

「⚙詳細設定」メニューの呼び出しかた





スリープを設定する

一定時間操作しないときに、自動的に液晶モニタが消えるように設定できます。

1 「⚙詳細設定」メニューの「スリープ」を選ぶ
2 十字キー（◀▶）で「30秒」「1分」「2分」「オフ」のいずれかを選ぶ
3 OKボタンを押す
撮影または再生できる状態になります。



・スライドショウで再生しているときや、USB接続しているときはスリープは働きません。

オートパワーオフを設定する

一定時間操作しないときに、自動的に電源が切れるように設定できます。

1 「⚙詳細設定」メニューの「オートパワーオフ」を選ぶ
2 十字キー（◀▶）で「3分」「5分」「オフ」を切り替える
3 OKボタンを押す
撮影または再生できる状態になります。



・メニュー画面を表示させてから1分間何も操作しないと、メニュー画面が終了します。
・USB接続しているときは、オートパワーオフは働きません。

クイック消去をオン／オフする

クイック消去をオンに設定すると、「消去」「全画像消去」が選択された状態で消去画面が表示されます。

1 「⚙詳細設定」メニューで「クイック消去」を選ぶ
2 十字キー（◀▶）で「オン」「オフ」を切り替える
3 OKボタンを押す
撮影または再生できる状態になります。

クイック拡大をオン／オフする

拡大再生時にズームボタンを一度押しただけで最大拡大倍率で画像を再生するように設定します。

1 「⚙詳細設定」メニューで「クイック拡大」を選ぶ
2 十字キー（◀▶）で「オン」「オフ」を切り替える
3 OKボタンを押す
撮影または再生できる状態になります。

「詳細設定」メニューの呼び出しかた





Fn設定をする

頻繁に使用する機能を十字キー（◀▶）に登録します。撮影時に、撮影機能メニューを表示しなくても、十字キー（◀▶）を押すことで直接機能を設定することができます。

機能を登録する

1 「詳細設定」メニューの「Fn設定」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で登録する機能を選ぶ

3 OKボタンを押す
機能が登録されます。



・十字キー（◀▶）に登録することができる機能は1つのみです。
・登録できる撮影機能は、露出補正、記録サイズ、画質、ホワイトバランス、AFエリア、測光方式、感度、クイックビュー、早送り動画の9項目です。

機能を呼び出す

1 十字キー（◀▶）を押す
Fn設定した機能が呼び出されます。

設定をリセットする

日時設定、Language/言語、ワールドタイム、アラーム以外の設定内容をリセットします。

1 「詳細設定」メニューの「リセット」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す
リセット画面が表示されます。

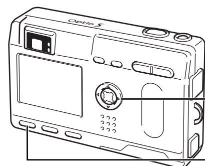
3 十字キー（▲）で「リセット」を選ぶ

4 OKボタンを押す
撮影または再生できる状態になります。

設定

決まった時刻にアラームを鳴らす

指定した時刻にアラームを鳴らし、指定した画像を表示できます。



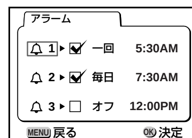
アラームを確認する

1 **MENUボタンを押す**

2 **十字キー（▶）を押す**
「▶ 再生機能」メニューが表示されます。

3 **十字キー（▲▼）を押して「アラーム」を選ぶ**

4 **十字キー（▶）を押す**
アラーム一覧が表示されます。
オンのアラームは ☑ で表示されます。



5 **OKボタンを2回押します。**
オンのアラームがあるときは、電源がオフになり、アラームがセットされます。

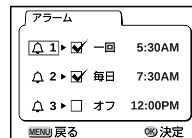
アラームを設定する

1 **MENUボタンを押す**

2 **十字キー（▶）を押す**
「▶ 再生機能」メニューが表示されます。

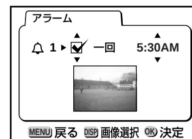
3 **十字キー（▲▼）を押して「アラーム」を選ぶ**

4 **十字キー（▶）を押す**
アラーム一覧が表示されます。



5 **十字キー（▲▼）で1～3を選ぶ**

6 **十字キー（▶）を押す**
動作モードと時刻を設定する画面が表示されます。
十字キー（◀▶）
項目を移動します。
十字キー（▲▼）
設定値を切り替えます。



7 **DISPLAYボタンを押す**

8 **十字キー（◀▶）を押して、アラーム時に表示する画像を選ぶ**

9 **OKボタンを押す**

10 **OKボタンを3回押す**
電源がオフになります。

アラームを停止する

電源をオフにしているときに指定した時刻になると、アラームが1分間鳴ります。
鳴り終わると自動的に電源がオフになります。



・いずれかのボタンを押してアラームを停止することができます。



アラームは電源がオンのときには鳴りません。

付録
都市名一覧

ワールドタイムで指定できる都市、および都市の記号名です。

PPG	パゴパゴ	THR	テヘラン
HNL	ホノルル	DXB	ドバイ
ANC	アンカレジ	KHI	カラチ
YVR	バンクーバー	KBL	カブール
SFO	サンフランシスコ	MLE	マーレ
LAX	ロサンゼルス	DEL	デリー
YYC	カルガリー	CMB	コロンボ
DEN	デンバー	KTM	カトマンズ
MEX	メキシコシティ	DAC	ダッカ
CHI	シカゴ	RGN	ヤンゴン
MIA	マイアミ	BKK	バンコク
YTO	トロント	KUL	クアラルンプール
NYC	ニューヨーク	VTE	ビエンチャン
SCL	サンティアゴ	SIN	シンガポール
CCS	カラカス	PNH	プノンペン
YHZ	ハリファックス	SGN	ホーチミン
BUE	ブエノスアイレス	JKT	ジャカルタ
SAO	サンパウロ	HKG	香港
RIO	リオデジャネイロ	PER	パース
MAD	マドリッド	BJS	北京
LON	ロンドン	SHA	上海
PAR	パリ	MNL	マニラ
MIL	ミラノ	TPE	台北
ROM	ローマ	SEL	ソウル
BER	ベルリン	ADL	アデレード
JNB	ヨハネスブルグ	TYO	東京
IST	イスタンブール	GUM	グアム
CAI	カイロ	SYD	シドニー
JRS	エルサレム	NOU	ヌーメア
MOW	モスクワ	WLG	ウェリントン
JED	ジッダ	AKL	オークランド

メッセージ一覧

カメラを使用中に、液晶モニタに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

カード空き容量なし 内蔵メモリ空き容量なし	SDメモリーカードまたは内蔵メモリに容量いっぱいの画像が保存されていて、これ以上画像を保存できません。新しいSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。(p.14、82) 画質または記録サイズを変えると保存できる可能性があります。(p.90、92)
画像・音声がありません	SDメモリーカードまたは内蔵メモリに再生できる画像が保存されていません。
この画像音声を表示できません	このカメラでは再生できない画像を再生しようとしています。他社のカメラやパソコンでは表示できる場合があります。
バッテリー容量がなくなりました	バッテリー残量がありません。バッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。(p.10)
カードが異常です	SDメモリーカードの異常で、撮影/再生ともにできません。パソコンでは表示できる場合もあります。
カードがフォーマットされていません	フォーマットされていないSDメモリーカードがセットされているか、パソコンなどでフォーマットされたSDメモリーカードがセットされています。(p.110)
記録中です	画像をSDメモリーカードに記録しています。
	画像のプロテクト設定やDPOF設定を変更しています。
フォーマット中	SDメモリーカードまたは内蔵メモリをフォーマット中です。

消去中です	画像を消去しています。
フォルダが作成できません	最大のファイルNo.が使用されているため、画像を保存できません。新しいSDメモリーカードをセットするか、SDメモリーカード/内蔵メモリをフォーマットしてください。(p.108)
圧縮に失敗しました	画像の圧縮に失敗しました。画質/サイズを変えて、もう一度撮影してください。
記録中です	動画を記録しています。
プロテクトされています	プロテクトされた画像を消去しようとした場合に表示されます。
アラームを設定しました	アラームを設定して、カメラの電源が自動的にオフになるときに表示されます。

こんなときは？

現象	原因	対処方法
電源が入らない	電池が入っていない	電池が入っているか確認し、入っていなければ入れてください。
	電池の入れかたを間違えている	電池の挿入方向を確認してください。電池室の◀マークを合わせて電池を入れなおしてください。(p.11)
	電池の残量がない	新しい電池をセットしてください。または、ACアダプタを使用してください。
液晶モニタに何も表示されない	液晶モニタがオフにセットされている	DISPLAYボタンを押すと、液晶モニタがオンになります。(p.38)
	表示はされているが、確認しづらい	日中屋外での撮影は、液晶モニタが表示されていても、確認しづらいことがあります。
シャッターが切れない	ストロボが充電中	ストロボランプが赤色に点滅している間は、ストロボが充電中で撮影できません。充電が完了すると赤色に点灯します。
	SDメモリーカードまたは内蔵メモリに空き容量がない	空き容量のあるSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください（p.14、82）
	書き込み中	書き込みが終了するまで待ってください

現象	原因	対処方法
ピントが合わない	オートフォーカスの苦手なものを撮影しようとしている	コントラストの低いもの（青空や白壁など）、暗いもの、細かい模様のもの、速く動いているもの、窓やネット越しの風景などは、オートフォーカスが苦手なものです。一旦撮りたいものと同じ距離にあるピントの合いやすいものにピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。あるいはマニュアルフォーカスを使用してください。
	AFエリアに被写体が入っていない	液晶モニタ中央の[ ]（AFエリア）に、ピントを合わせたいものを入れてください。撮りたいものが、AFエリアにない場合は、一旦撮りたいものをAFエリアに入れて、ピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。
	被写体が近すぎる	フォーカスモードをまたは（スーパーマクロ）にセットしてください（p.35）
	フォーカスモードがまたは（スーパーマクロ）になっている	フォーカスモードがまたは（スーパーマクロ）にセットされているときは、通常の撮影域にはピントが合いません。
撮影した写真が暗い	夜景などの暗い場所で撮るものまでの距離が遠い	撮るものまでの距離が遠すぎると、撮影した画像が暗くなります。ストロボの光がとどく範囲で撮影してください。
	背景が暗い	夜景など暗い背景で人物の写真を撮ると、人物は適正露出でも背景にはストロボの光がとどきませんので暗くなってしまうことがあります。モードにセットして撮影すると、人物も夜景もきれいに撮ることができます。（p.34）
ストロボが発光しない	ストロボの発光方法が発光禁止になっている	オートまたはに設定してください（p.37）
	撮影モードがにセットされているか、連続撮影、または遠景モードに設定されている	これらのモードではストロボは発光しません。

別売りアクセサリー一覧

本機には、別売りアクセサリーとして以下の製品が用意されています。

ACアダプタキット K-AC8J

USBケーブル I-USB7

AVケーブル I-AVC7

カメラケース O-CC8

ストラップ O-ST5

リモコンF

充電式リチウムイオンバッテリー D-LI8

バッテリー充電器キット K-BC8J

主な仕様

型式	ズームレンズ内蔵全自動コンパクトタイプデジタルスチルカメラ
有効画素数	320万画素
撮像素子	総画素数334万画素、原色フィルタ/インターライントランスファー1/2.5型CCD
記録画素数	静止画　2048×1536ピクセル、1600×1200ピクセル、1024×768ピクセル、640×480ピクセル 動画　320×240ピクセル
感度	オート、マニュアル（ISO50相当、ISO100相当、ISO200相当）
記録方式	静止画　JPEG（Exif2.2）、DCF準拠、DPOF対応、PRINT Image Matching II対応 動画　AVI（Open DML Motion JPEG準拠）、約12フレーム/秒、音声あり 音声　WAV(ADPCM方式)、最大録音可能時間　59分46秒（16MBのSDメモリーカード使用時）
画質	S.ファイン、ファイン、エコノミー
記録媒体	内蔵メモリ(約11MB)、SDメモリーカードおよびマルチメディアカード(MMC)

撮影枚数

記録サイズ ＼ 画質	S.ファイン	ファイン	エコノミー	動画（320×240）
2048×1536	7	13	19	30秒×3
1600×1200	11	20	28	
1024× 768	26	47	62	
640× 480	57	89	119	

・表の数値は16MBのSDカードを使用した場合の枚数

ホワイトバランス	オート、太陽光、日陰、白熱灯、蛍光灯、マニュアル
レンズ	焦点距離　5.8mm～17.4mm（35mmフィルム換算：35～105mm相当） F値　F2.6～F4.8 レンズ構成　5群6枚（両面非球面レンズ2枚使用） ズーム方式　電動式 撮影範囲　39.5mm×29.6mmを画面一杯に撮影可能（スーパーマクロモード） レンズバリア　電動式
デジタルズーム	撮影時：最大約4倍　（光学3倍ズームと合わせ、最大約12倍ズーム相当のズーム倍率）
ファインダー	方式　実像式ズームファインダー 倍率　ワイド0.28×、テレ0.78×

液晶モニタ	1.6型TFTカラーLCD（バックライト）
再生機能	1コマ、インデックス（9画面）、拡大（最大4倍）、スクロール、スライドショウ、ムービー再生、ヒストグラム表示、画像音声コピー、トリミング、リサイズ
オートフォーカス	方式　撮影素子によるTTLコントラスト検出方式　7点AF(スポットAF切替可) 撮影範囲（レンズ前面から）　ノーマル：0.4m～∞（ズーム全域） マクロ：0.18m～0.5m（ズーム全域） スーパーマクロ：0.06m～0.2m（ズーム中央位置のみ） 遠景：∞（ズーム全域） フォーカスロック　シャッターボタン半押しによる
マニュアルフォーカス	0.06m～∞
露出機構	測光方式　撮影素子によるTTL測光（分割、中央部重点、スポット） 撮影モード　プログラム、ピクチャーモード、夜景、動画、パノラマアシスト、3D、デジタルフィルタ、USER 露出補正　±2EV（1/3EVステップで設定可能） 動画　撮影時間約1秒～約30秒、早送り動画時：最大約50分
シャッター	型式　メカニカル併用電子シャッター 速度　約1/2000秒～約4秒
ストロボ	型式　赤目軽減機能付オートストロボ 発光モード　オート、発光禁止、強制発光、オート＋赤目軽減、強制発光＋赤目軽減 撮影範囲　ワイド　約0.2m～約3.5m（感度200） テレ　約0.2m～約2.0m（感度200）
ドライブモード	1コマ撮影、連続撮影、リモコン撮影、セルフタイマー撮影
セルフタイマー	電子制御式、作動時間：約10秒
時計機能	ワールドタイム設定、世界62都市に対応（28タイムゾーン）
電源	充電式リチウムイオンバッテリーD-LI8、ACアダプタキット（別売）
バッテリー寿命	約160枚（液晶モニタオン、ストロボ使用率50%；充電式リチウムイオンバッテリーD-LI8を使用した場合） ※撮影可能枚数は当社撮影条件による目安です
入出力ポート	USB/ビデオ端子（PC通信方式 USB1.1）、外部電源端子
ビデオ出力方式	NTSC/PAL
大きさ	83（幅）×52（高）×20（厚）mm（操作部材および小突起部を除く）
質量	98 g（電池、SDカード含まず）
撮影時質量	113 g（電池、SDカード含む）
主な付属品	充電式リチウムイオンバッテリー、3Dイメージビュワー、USBケーブル、ソフトウェア（CD-ROM）、AVケーブル、ストラップ、使用説明書

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理致しますので、お買い上げ店か使用説明書に記載されている当社サービス窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口に直接お持ちください。修理品ご送付の場合は、化粧箱などを利用して、輸送中の衝撃に耐えるようしっかりと梱包してお送りください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付していただけると原因分析に役立ちます。

2. 保証期間中［ご購入後1年間］は、保証書［販売店印および購入年月日が記入されているもの］をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様にご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。

3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
   - ・使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障。
   - ・当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障。
   - ・火災・天災・地変等による故障。
   - ・保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等）や手入れの不備（本体内部に砂・ホコリ・液体かぶり等）による故障。
   - ・修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合。
   - ・お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合。

4. 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。

5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後5年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間以後であっても修理可能の場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。

6. 海外でご使用になる場合は、国際保証書をお持ちください。国際保証書は、お持ちの保証書と交換に発行いたしますので、使用説明書記載のお客様窓口にご持参またはご送付ください。[保証期間中のみ有効]

7. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

メモ

メモ

メモ

お客様窓口のご案内

ペンタックス　ホームページアドレス http://www.pentax.co.jp/

お客様相談センター（弊社製品に関するお問い合わせ）
〒174-8639 東京都板橋区前野町2-36-9
営業時間 午前9：00〜午後6：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）
0570-001313（市内通話料でご利用いただけます。）
携帯電話、PHSの方は、下記の電話番号をご利用ください。
03(3960)3200(代)　03(3960)0887 デジタルカメラ専用

[ショールーム・写真展・修理受付]

ペンタックスフォーラム　03(3348)2941(代)
〒163-0401 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル1階(私書箱240号)
営業時間 午前10：30〜午後6：30（年末年始および三井ビル点検日を除き年中無休）

[修理受付]

ペンタックス 札幌営業所お客様窓口　011(612)3231(代)
〒060-0010 札幌市中央区北10条西18-36 ペンタックス札幌ビル2階
営業時間 午前9：00〜午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス 仙台営業所お客様窓口　022(371)6663(代)
〒981-3133 仙台市泉区泉中央1-7-1 千代田生命泉中央駅ビル5階
営業時間 午前9：00〜午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス 名古屋営業所お客様窓口　052(962)5331(代)
〒461-0001 名古屋市東区泉1-19-8 ペンタックスビル3階
営業時間 午前9：00〜午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス 大阪営業所お客様窓口　06(6271)7996(代)
〒542-0081 大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階
営業時間 午前9：00〜午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス 広島営業所お客様窓口　082(234)5681(代)
〒730-0851 広島市中区榎町2-15 榎町ビュロー3階
営業時間 午前9：00〜午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス 福岡営業所お客様窓口　092(281)6868(代)
〒810-0802 福岡市博多区中洲中島町3-8 パールビル2階
営業時間 午前9：00〜午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

[宅配便・郵便修理受付・修理に関するお問い合わせ]

ペンタックスサービス(株) 東日本修理センター　03(3975)4341(代)
〒175-0082 東京都板橋区高島平6-6-2 ペンタックス(株) 流通センター内
営業時間 午前9：00〜午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックスサービス(株) 西日本修理センター　06(6271)7996(代)
〒542-0081 大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階
営業時間 午前9：00〜午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）



ペンタックス株式会社
〒174-8639 東京都板橋区前野町2-36-9
ペンタックス販売株式会社
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1

☆この説明書には再生紙を使用しています。
☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

57242　02-200303
Printed in Japan